

OPRO X Designerファーストステップ

製品構成

OPRO X Serverファミリーは、以下のようなソフトウェアで構成されています。

- ▶ OPRO X Server (OXS)

帳票生成サーバソフトウェア

- ▶ OPRO X Designer (OXD)

帳票デザインを行うためのクライアントソフトウェア

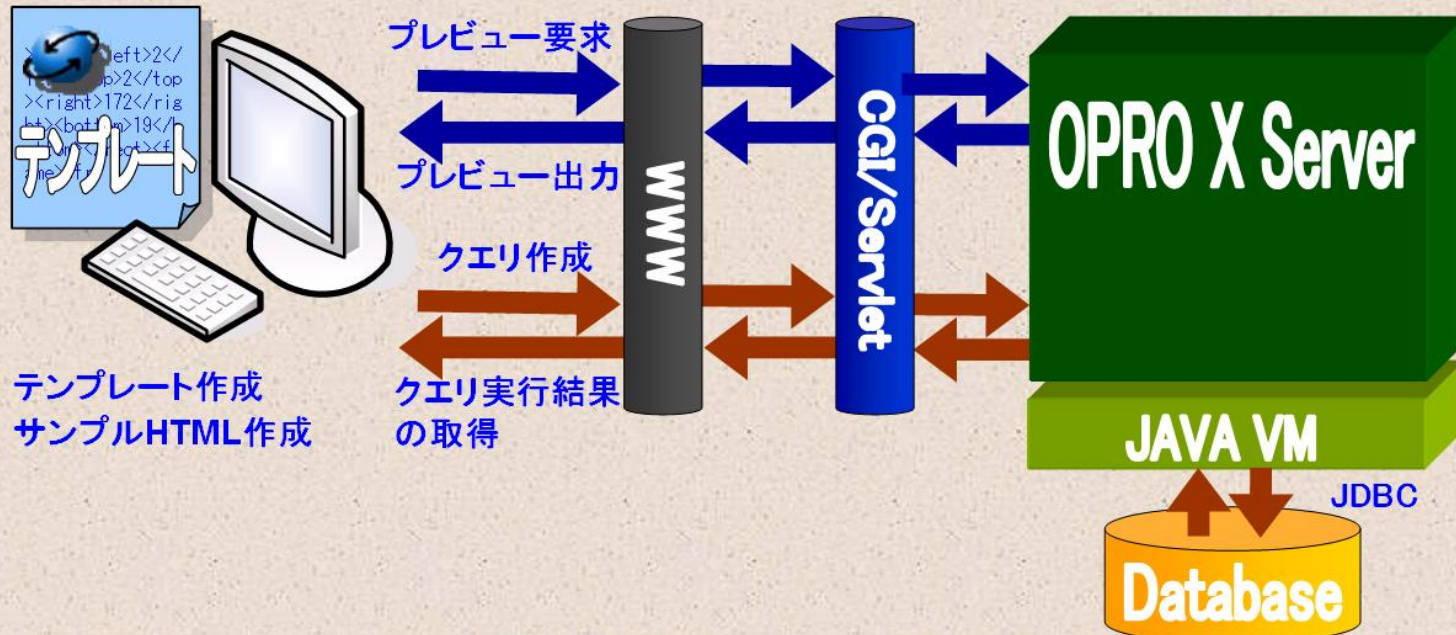
- ▶ OPRO X Browser (OXB) (ライセンスフリー)

OPR等、オプロ独自形式の帳票フォーマットを閲覧/印刷するためのクライアントソフトウェア

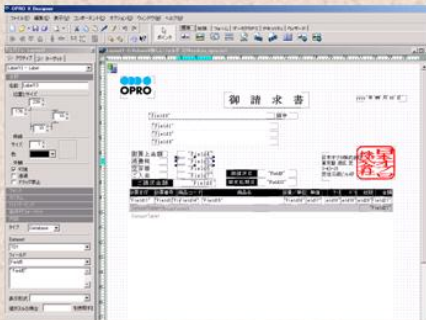
- ▶ OPRO X Server Management Service (OXSMS) (オプション製品)

帳票の出力履歴や、複数のOPRO X Serverに対する負荷分散等を行うサーバソフトウェア

OXDのアーキテクチャ



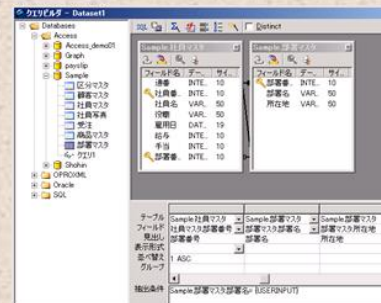
▼デザイン画面



▼プレビュー結果



▼クエリビルダ



データの取得

OXDを使用するにあたって

OXDは、OXSのテンプレート(拡張子oxtのXML帳票定義体)を、GUIで作成するためのツールです。

OXDでは、OXSのHTTPインターフェイス(CGIまたはサーブレット)に接続し、プレビューやデータベースの参照等を行います。このため、OXSが稼働している必要があります。また、OPR形式でプレビューを行う場合は、OXBがインストールされている必要があります。

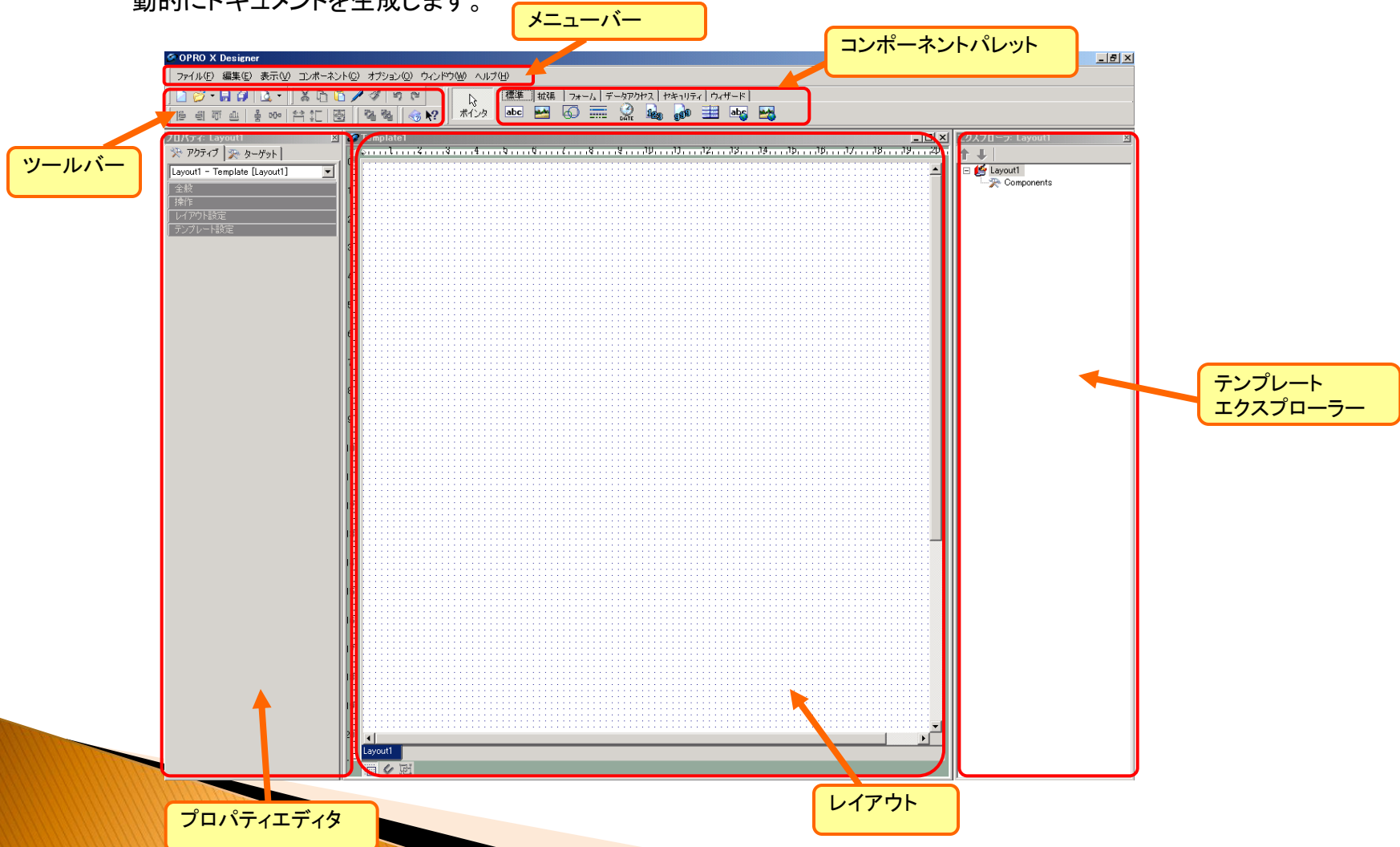
各ソフトウェアのセットアップについては、製品CDの「manual.html」またはサポートページの「リファレンスマニュアル」をご覧ください。

OPRO X Server – リファレンスマニュアル

https://www2.opro.net/jp/opss/docs/270_ja/manual.html

OPRO X Designerの画面構成

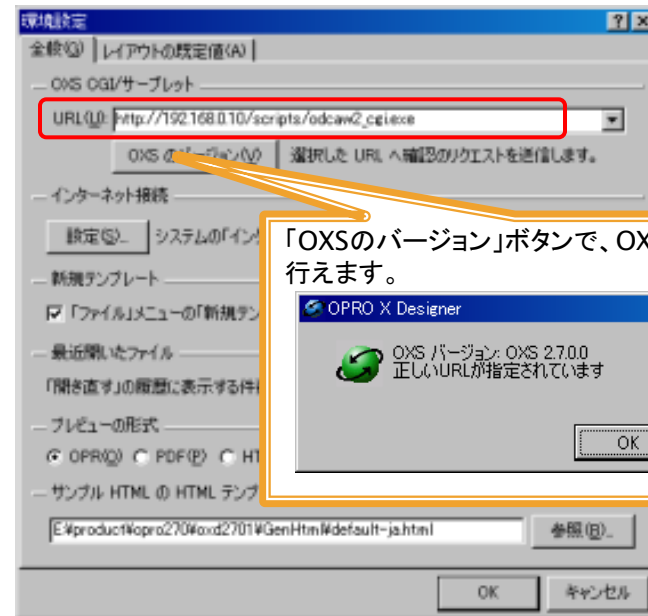
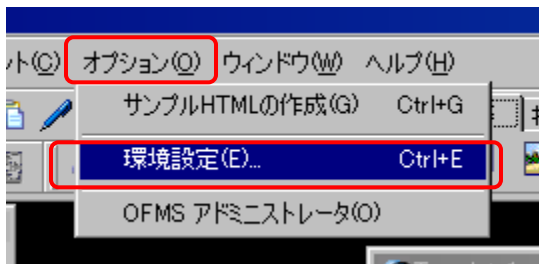
OPRO X Designerは、OPRO X Serverで使用する帳票定義体(テンプレート)を作成するためのクライアントツールです。テンプレートは、拡張子oxtのXMLとして保存されます。OPRO X Serverは、テンプレートをもとに、指定したデータソースからリアルタイムにデータを取得し、動的にドキュメントを生成します。



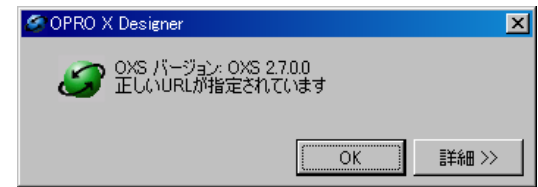
OXSへの接続設定

オプションメニュー → 環境設定 → 「OXS CGI/サーバレット」で、OPRO X ServerのCGI/サーバレットのURLを指定します。

このURLは、プレビューや、サンプルHTMLの作成の際に使用します。



「OXSのバージョン」ボタンで、OXSの接続確認が行えます。



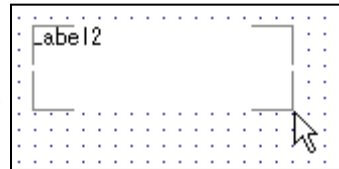
基本的な操作

OXDでは、機能毎の部品(コンポーネント)を選択、配置 → プロパティを設定 という流れが基本になります。
簡単なテンプレートを作成し、プレビューしてみましょう。

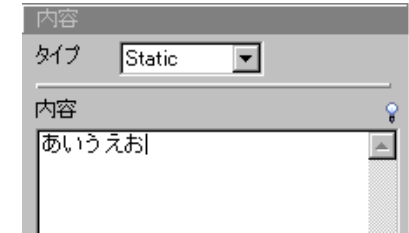
コンポーネントを選択



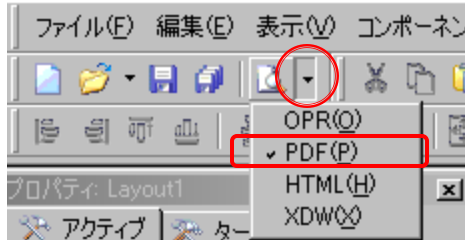
配置




プロパティを設定



プレビュー



プレビューボタン  の右横にある▼で、プレビューするフォーマットを選択できます。
次回からは、プレビューボタンを押せば、そのフォーマットが選択されます。

プロパティエディタについて

プロパティエディタには、「アクティブ」タブと、「ターゲット」タブがあります。

・「アクティブ」タブ

現在選択され、アクティブとなっているコンポーネントのプロパティが表示されます。



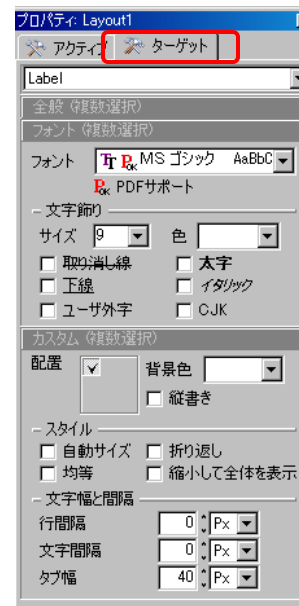
Labelのプロパティ

・「ターゲット」タブ

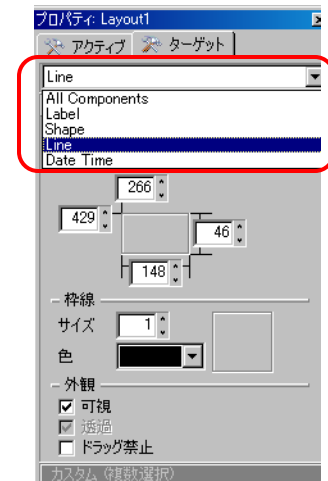
コンポーネントを複数選択している場合に、一括でプロパティの値を変更することができます。



Shapeのプロパティ



Label(複数選択)のプロパティ



複数の種類を選択している場合は、ドロップダウンからコンポーネントの種類を選択することができます。

便利な操作

キーボードを使用することにより、以下のような操作が可能です。
作業効率が大幅に増しますので、是非活用してください。

[] で囲まれた文字は、キーボードのキーを表します。

操作	説明
[Ctrl] + [矢印 (↑↓←→)]	コンポーネントを 1px ずつ移動
[Ctrl] + [Shift] + [矢印 (↑↓←→)]	コンポーネントをグリッドの間隔単位で移動
[Ctrl] + ドラッグ	コンポーネントの移動方向 (垂直・水平) を固定 (最初にドラッグし始めた方向に移動)
[Shift] + [矢印 (↑↓←→)]	コンポーネントのサイズを変更
[Shift] + マウスでコンポーネントサイズを変更	コンポーネントサイズの縦横比を変えずに変更
[Alt] + ドラッグ	ボックスコンポーネント(※)を移動

(※) ボックスコンポーネントとは、以下のコンポーネントを指します。

Table

InterfaceGroup

DatasetTable

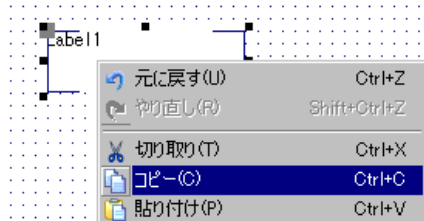
HorizontalDatasetTable

DatasetTableContainer

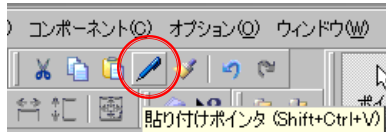
便利な機能 - 1

その他、OPRO X Designerには、以下のような便利な機能があります。

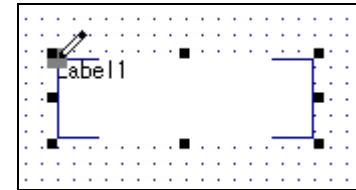
・貼り付けポインタ



コンポーネントをコピー



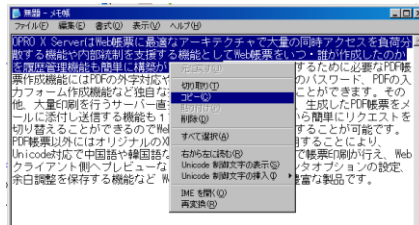
「貼り付けポインタ」をクリック



クリックした場所に貼り付けられます。
(元のポインタに戻すには、もう一度
「貼り付けポインタ」をクリックするか、
キーボードのEscキーを押してください)

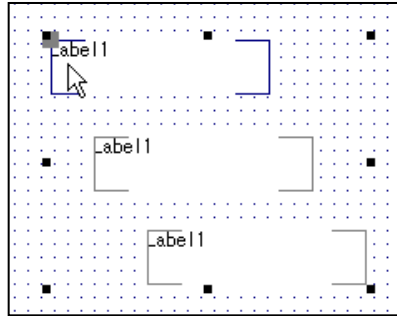
・画像やテキストをそのまま貼り付け

他のアプリケーション上で
コピーしたテキスト情報や
画像情報(クリップボードの
情報)を、そのままレイアウト
上に貼り付けることができ
ます。



便利な機能 - 2

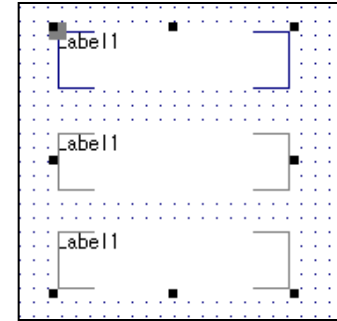
・整列



コンポーネントを複数選択した状態で、基準にするコンポーネントをクリック

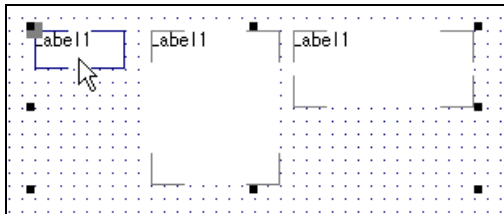


「整列」ボタンをクリック

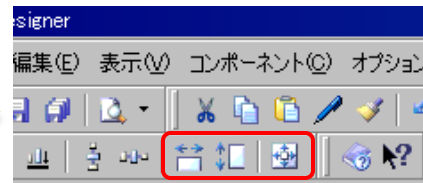


基準のコンポーネントに揃えて整列されます。

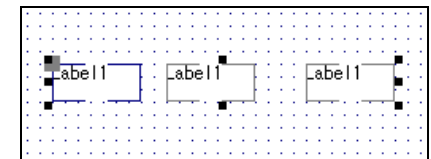
・サイズを揃える



コンポーネントを複数選択した状態で、基準にするコンポーネントをクリック



「サイズを揃える」ボタンをクリック



基準のコンポーネントにサイズが揃います。

データベース環境設定

本トレーニングでは、データベースとして付属のsample.mdbを使用します。
OXSがインストールされているコンピュータ上で、以下の設定を行ってください。

1. sample.mdbファイルを、OXSがインストールされているコンピュータ上の任意のフォルダに配置。
2. Windowsのコントロールパネル → 管理ツール → データ ソース (ODBC) を開く。
3. 「システム DSN」タブを開き、「追加」をクリック。
4. ドライバの選択で、「Microsoft Access Driver (*.mdb)」を選択。
5. データソース名 (例: sample) を指定。
6. 「選択」をクリックし、配置したmdbファイルを選択。
7. OK ボタンを押し、完了。
8. OXSインストールディレクトリ以下 /conf/ODCAW.xmlの、ODCAW/ODCS/DATABASES/要素で、以下の設定を追加。
(赤文字の「sample」は、5で指定したデータソース名)

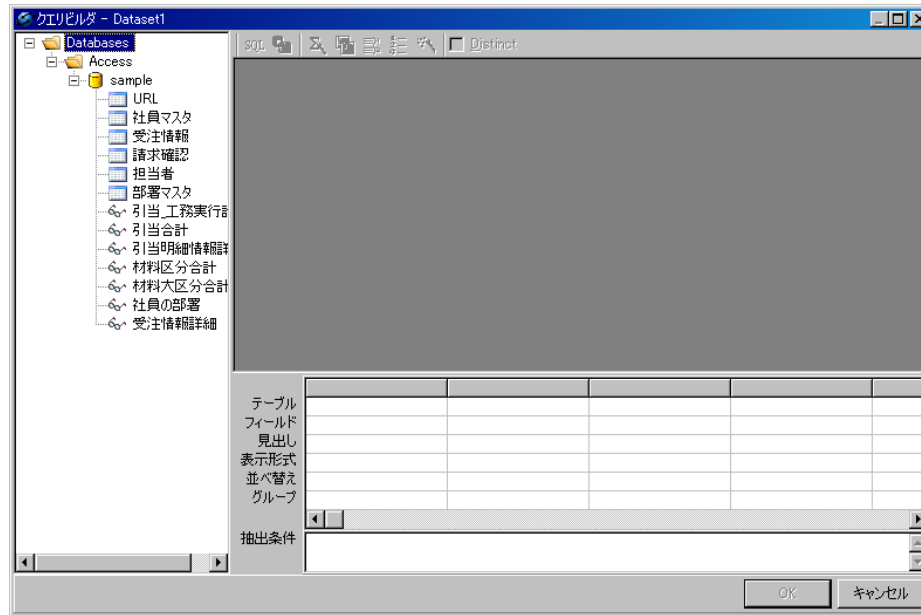
```
<DATABASE>  
  <Name>sample</Name>  
  <Type>Access</Type>  
  <URL>jdbc:odbc:sample</URL>  
  <Driver>sun.jdbc.odbc.JdbcOdbcDriver</Driver>  
  <UserID/>  
  <Password/>  
  <Connections>3</Connections>  
</DATABASE>
```

9. OXSを再起動。

データベース接続確認

以下の手順で、OXSが接続しているDBを参照できることを確認してください。

1. OXDで、新規テンプレートを開く。
2. Datasetを配置し、ダブルクリック。
3. 「OSMSログイン」にログイン(標準ではadmin/admin)
4. クエリビルダの画面左側のツリーに、「Access」-「sample」というデータベースが表示されれば、接続されています。



基本的な内容は以上です。次ページからは、サンプルのmdbを使用して、簡易的な連続帳票を作成する手順をご紹介します。

基本的な連続帳票 - 完成版

データベースからデータを取得して、1ページに複数レコードを表示します。

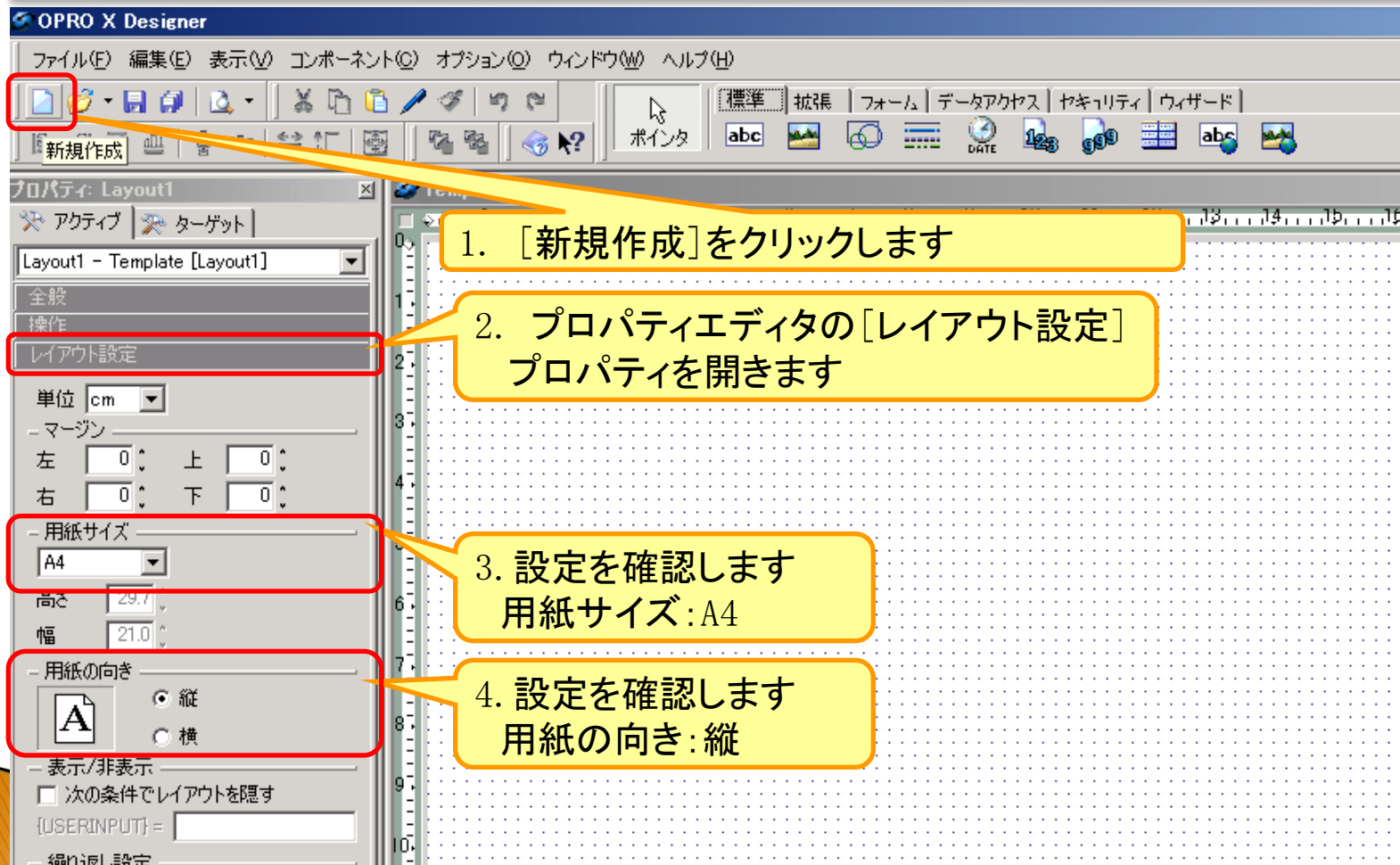
担当者ごとのリストです

取引先名	受注日	工事名	受注金額
田中			
株式会社 ABC	2003/06/30	光ファイバー敷	¥7,499,000
	2003/06/20	光ファイバー敷	¥6,402,000
	2003/06/10	光ファイバー敷	¥5,500,000
	2003/05/31	電話工事	¥4,500,000
	2003/05/21	電話工事	¥2,800,000
	2003/05/11	ADSL工事	¥2,500,000
	2003/05/01	水道工事	¥1,500,000
田中 株式会社	2003/05/01	水道工事	¥1,500,000
合計			¥32,001,000

担当者ごとに集計を行います

新規テンプレートの作成

A4 縦 のテンプレートを新しく作成します。



Datasetコンポーネントの配置

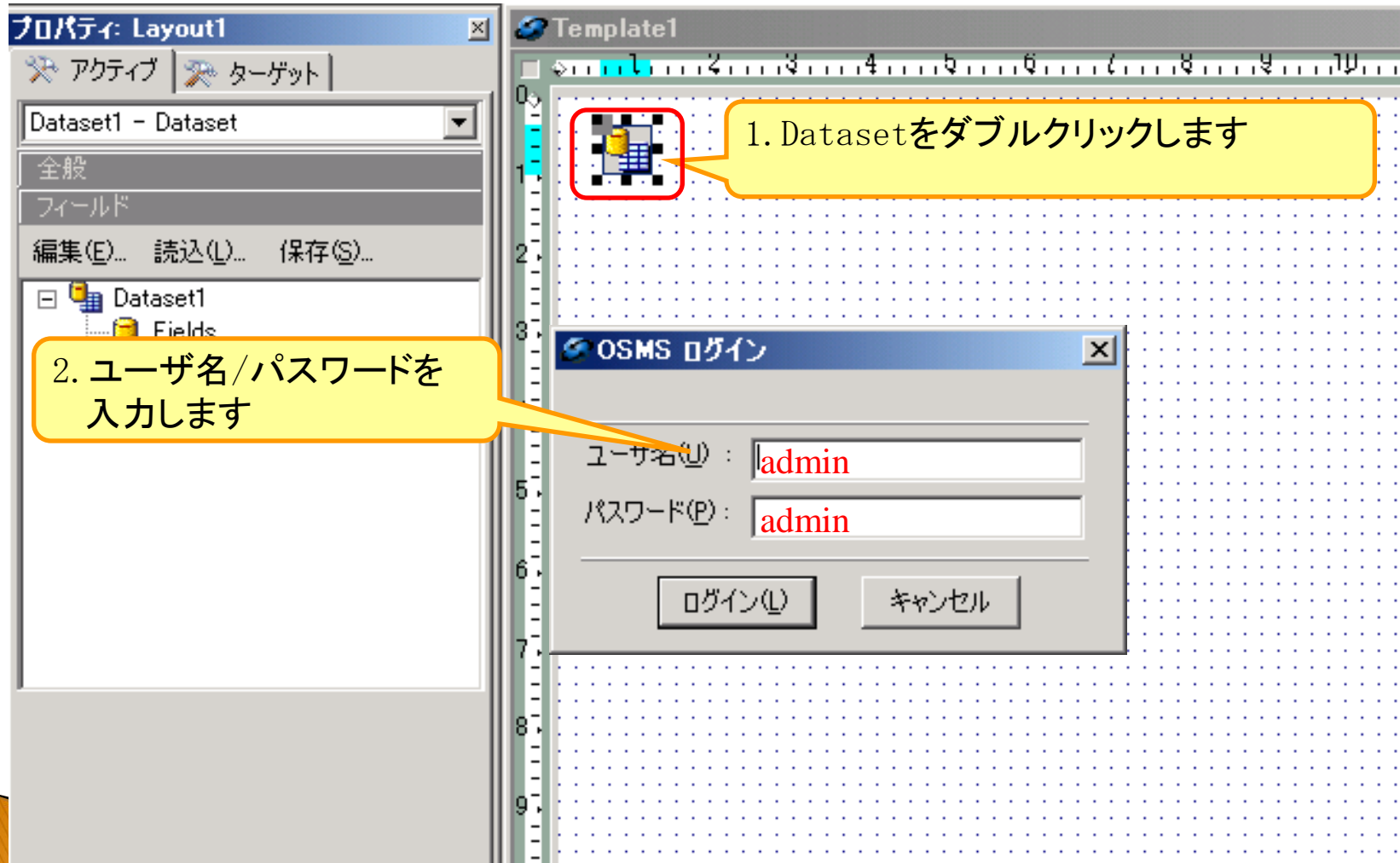
Datasetコンポーネントは、データベースとテンプレートをリンクするコンポーネントです。

クエリビルダというツールを利用して、データベースへのアクセスを行います。

The screenshot shows the OPRO X Designer interface. The top menu bar includes 'ファイル(F)', '編集(E)', '表示(V)', 'コンポーネント(C)', 'オプション(O)', 'ウインドウ(W)', and 'ヘルプ(H)'. Below the menu is a toolbar with various icons. A red box highlights the 'データアクセス' (Data Access) tab in the toolbar. Another red box highlights the 'Dataset' icon (a cylinder with a grid) in the same toolbar. A third red box highlights the 'Dataset' icon on the 'Template1' design canvas. Three yellow callout boxes with orange borders provide instructions: 1. [データアクセス] タブをクリックします (Click the [Data Access] tab), 2. [Dataset] をクリックします (Click [Dataset]), and 3. そのまま、レイアウト上でクリックして配置します (Click and place it on the layout as is). The left sidebar shows the 'プロパティ: Layout1' (Properties: Layout1) panel with tabs for 'アクティブ' (Active) and 'ターゲット' (Target), and a list of components including 'Layout1 - Template [Layout1]'. The main design area shows a grid with a ruler at the top and left.

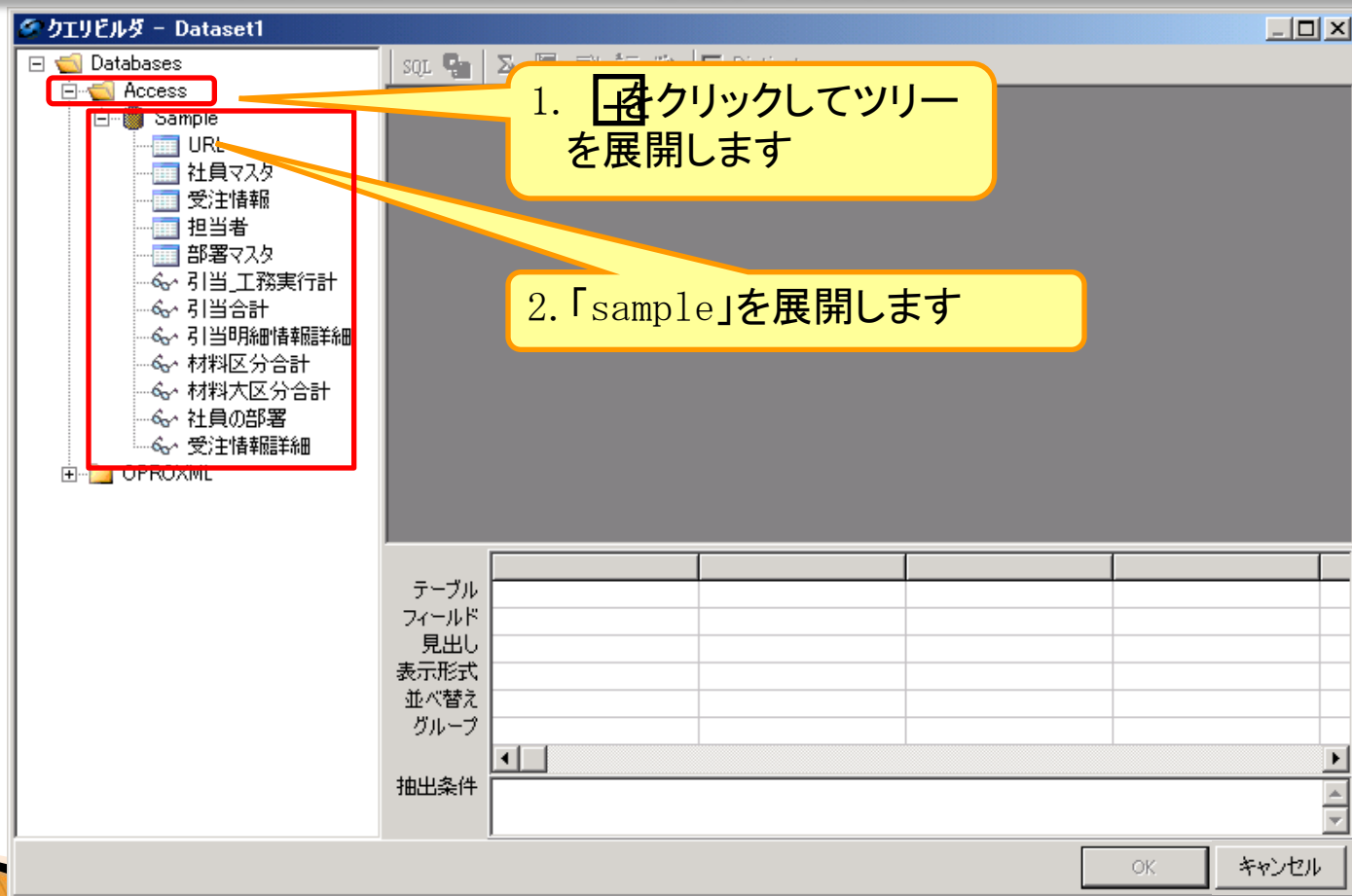
1. [データアクセス] タブをクリックします
2. [Dataset] をクリックします
3. そのまま、レイアウト上でクリックして配置します

クエリービルダの起動



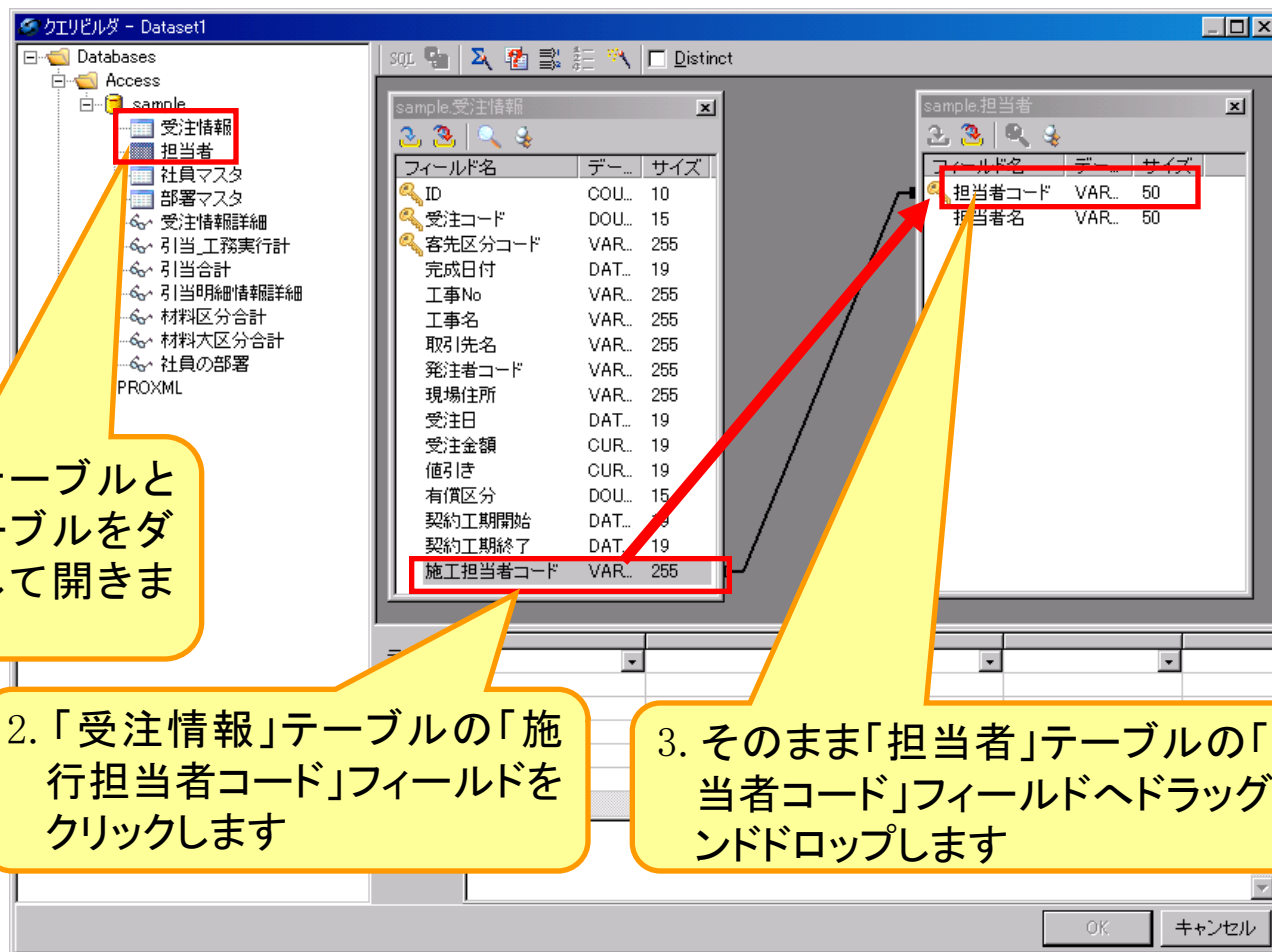
データベースの選択

データベースのタイプとデータベースを選択します。



テーブルの選択と結合

テーブルを選択し、フィールド「担当者コード」で結合を行います。



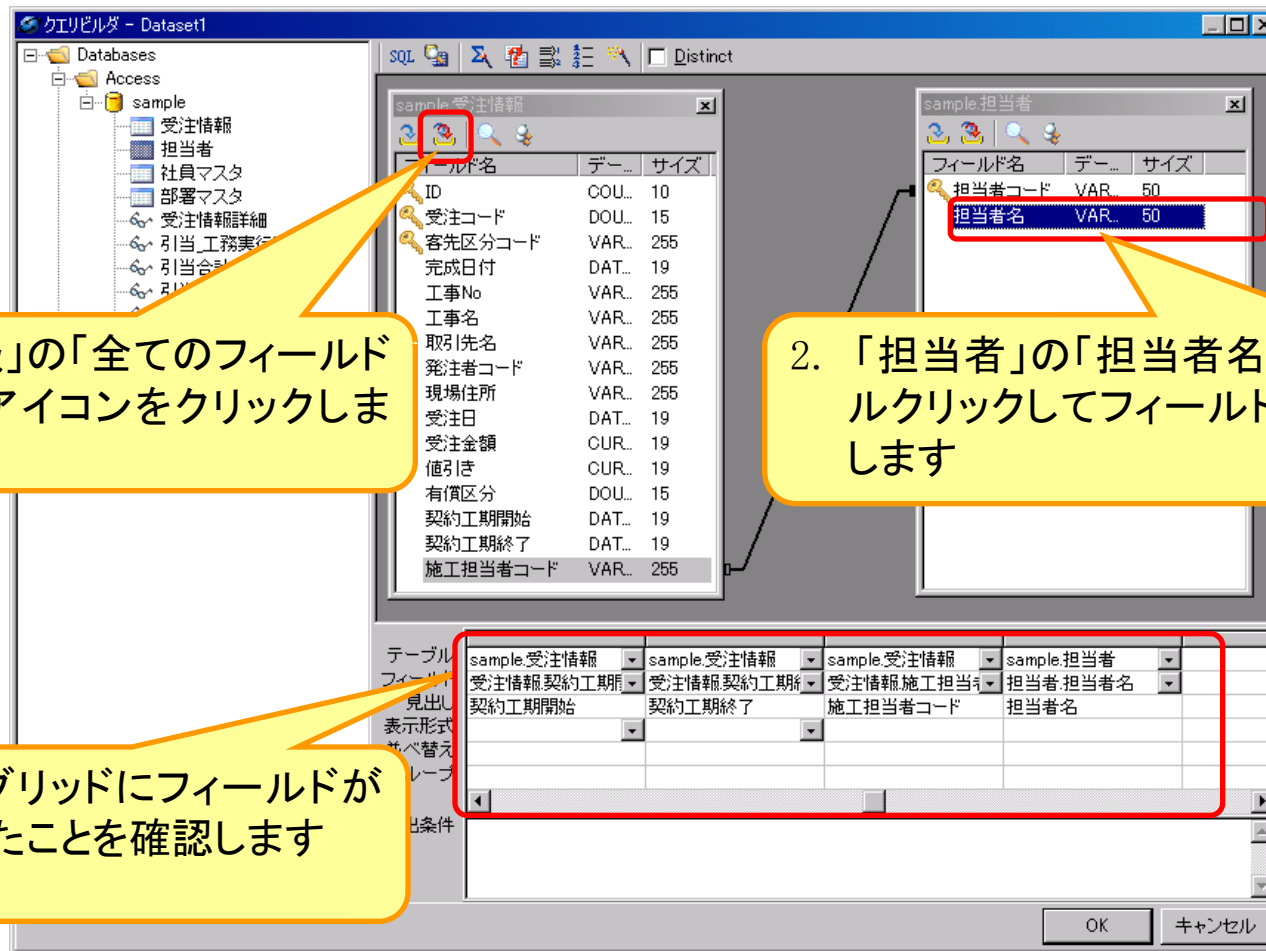
1. 「受注情報」テーブルと「担当者」テーブルをダブルクリックして開きます

2. 「受注情報」テーブルの「施工担当者コード」フィールドをクリックします

3. そのまま「担当者」テーブルの「担当者コード」フィールドへドラッグアンドドロップします

フィールドの追加

テンプレートで使用するフィールドを、デザイングリッドに追加します。



データ表示形式の指定

デザイングリッドの[表示形式]はドロップダウンリストから表示形式を選択できます。
(ドロップダウンリストにないものは直接キーボードから入力できます。)

テーブル フィールド 見出し 表示形式 並べ替え グループ 抽出条件			
	sample.受注情報 ▼	sample.受注情報 ▼	sample.受注情報 ▼
	受注情報.受注日 ▼	受注情報.受注金額 ▼	受注情報.値引き ▼
	受注日	受注金額	値引き
	yyyy/MM/dd ▼	###,### ▼	###,### ▼

1. ドロップダウンリストから表示形式を選択します

2. キーボードから表示形式を入力します

クエリー実行結果の確認

「実行結果の確認」をクリックするとクエリーの実行結果が確認できます。

結果の確認

クエリビルダ - Dataset1

SQLステートメント

結果

ID	受注コード	客先区分	完成日付	工事No	工事名	取引先名	発注者コード	現場住所	受注日
1	3010.0	24	2003-08-03	000000001	水道工事	株式会社	A0001	東京	2003/05/
2	31320.0	24	2003-08-13	000000011	ADSL工事	株式会社	A0011	東京	2003/05/
3	32330.0	24	2003-08-23	000000021	電話工事	株式会社	A0021	東京	2003/05/
4	33340.0	24	2003-09-02	000000031	電話工事	株式会社	A0001	東京	2003/05/
5	34350.0	24	2003-09-12	000000041	光ファイバ	株式会社	A0011	東京	2003/06/
6	35360.0	24	2003-09-22	000000051	光ファイバ	株式会社	A0021	東京	2003/06/
7	36370.0	24	2003-10-02	000000061	光ファイバ	株式会社	A0001	東京	2003/06/
8	54371.0	31	2003-08-05	000000001	水道工事	田中 株式	A0001	大阪	2003/05/
9	46372.0	28	2003-08-05	000000002	道路工事	佐藤 株式	A0002	名古屋	2003/05/
10	53311.0	30	2003-08-04	000000002	道路工事	松下産業	A0002	大阪	2003/05/
11	55341.0	31	2003-09-03	000000032	水道工事	田中 株式	A0002	大阪	2003/06/
12	56351.0	31	2003-09-13	000000042	水道工事	田中 株式	A0012	大阪	2003/06/
13	57361.0	31	2003-09-23	000000052	水道工事	田中 株式	A0022	大阪	2003/06/
14	60321.0	34	2003-08-14	000000012	電話工事	有限会社	A0012	大阪	2003/05/
15	65331.0	35	2003-08-24	000000022	下水道工事	鈴木 株式	A0022	大阪	2003/05/
16	47322.0	28	2003-08-15	000000013	下水道工事	佐藤 株式	A0013	名古屋	2003/05/
17	48362.0	28	2003-09-24	000000053	道路工事	佐藤 株式	A0023	名古屋	2003/06/
18	61312.0	34	2003-08-05	000000003	下水道工事	有限会社	A0003	名古屋	2003/05/
19	62332.0	34	2003-08-25	000000023	上水道工事	有限会社	A0023	名古屋	2003/05/
20	63342.0	34	2003-09-04	000000033	道路工事	有限会社	A0003	名古屋	2003/06/

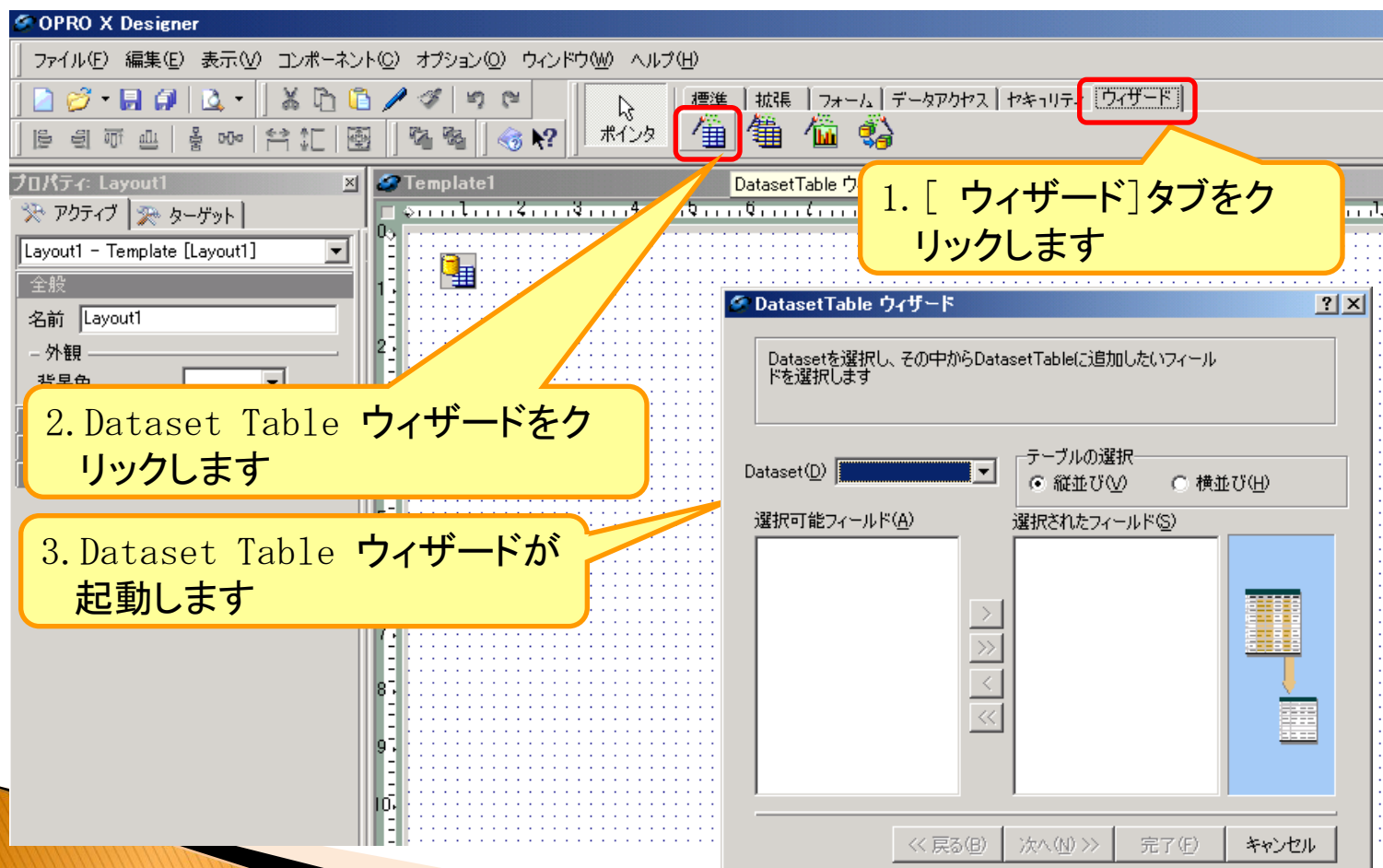
font: MS Gothic AaBb

レコード数 67

CSV形式で保存(E)... 停止(S) 閉じる キャンセル

DataSetTable ウィザードの起動

DataSetTableを、ウィザードを使用して配置します。

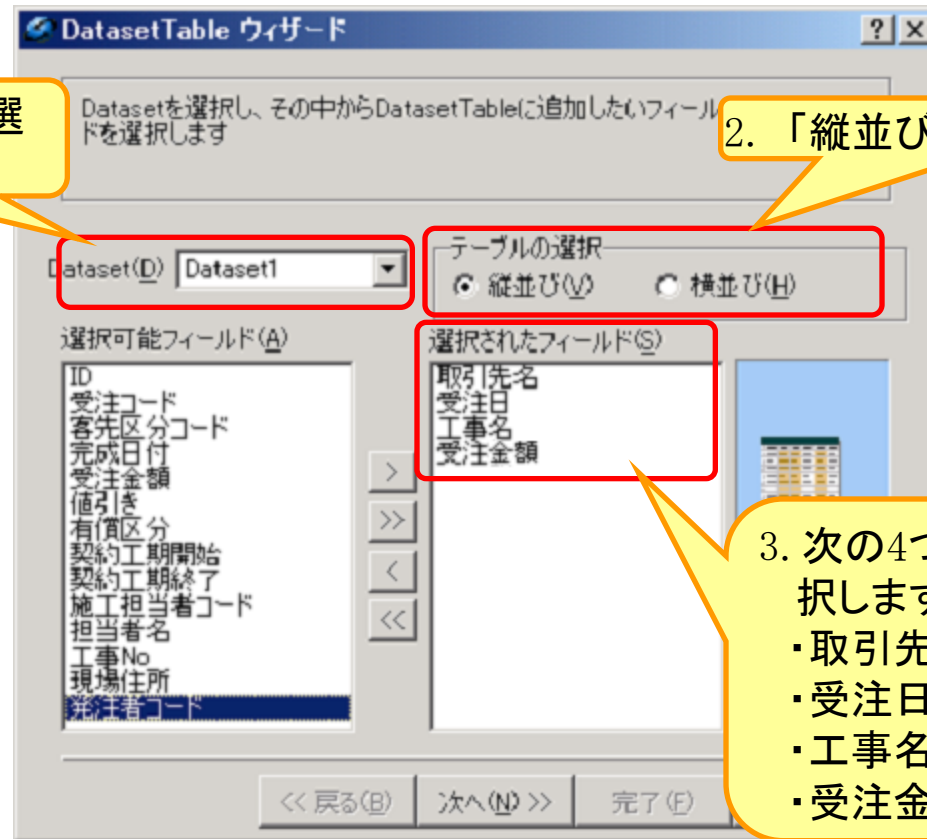


Dataset Table ウィザードの実行(1)

Dataset、テーブルの並びのタイプ、使用するフィールドを設定します。

1. 「Dataset1」を選択します

2. 「縦並び」を選択します



3. 次の4つのフィールドを選択します

- ・取引先名
- ・受注日
- ・工事名
- ・受注金額

Dataset Table ウィザードの実行(2)

コンポーネントの名前と位置とサイズ等を設定します。

[次へ]をクリックします

DatasetTable ウィザード

DatasetTablesと、グループ化された複数のDatasetTablesの位置/次元を変更することができます

名前(A) DatasetTable1

DatasetTable

位置とサイズ

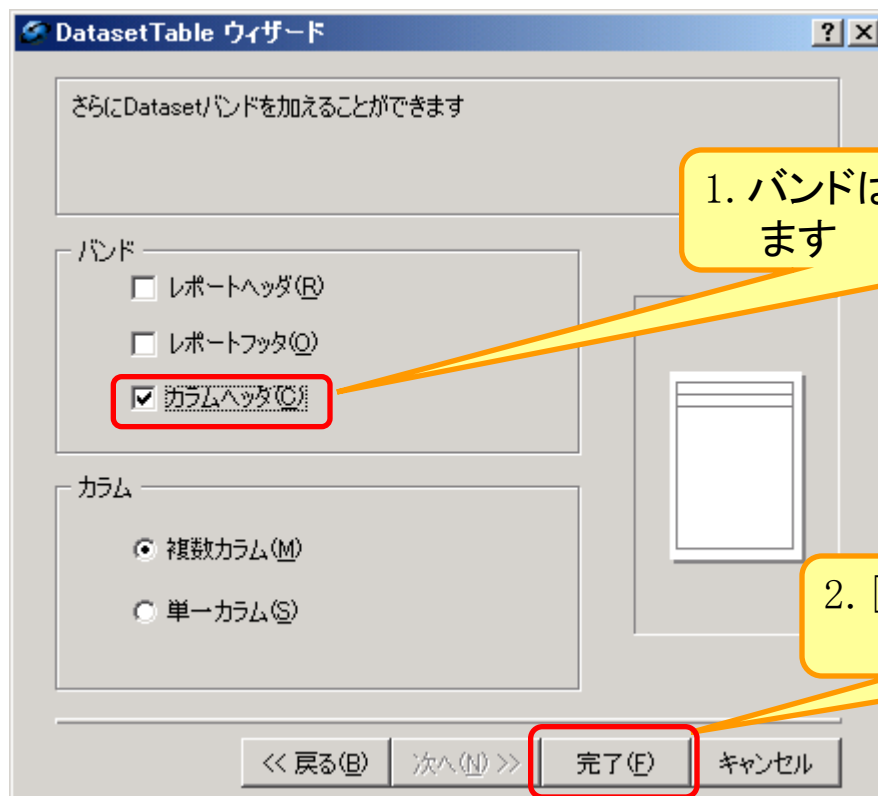
グルーピング

1列(Q) (selected)
2列(T)
3列(H)
4列(U)

<< 戻る(B) 次へ(N) >> 完了(F) キャンセル

Dataset Table ウィザードの実行(3)

バンドとカラムの設定をします。



Dataset Table ウィザード 実行結果(1)

各バンドに配置されたLabelの「内容」プロパティを確認します。

The screenshot displays the 'Dataset Table' wizard results. On the left, the 'Properties: Layout1' window shows the 'Content' tab for 'Label1 - Label'. The 'Type' is set to 'Database', the 'Dataset' is 'Dataset1', and the 'Field' is '取引先名'. The 'Display Format' is set to 'Text'. The 'Value when null' is set to ' ' (space) and '使用する' (use). On the right, the 'Template1' window shows a table layout. The table has columns for '取引先名', '受注日', and '工事名'. The labels for the columns are 'ColumnHeader', 'DatasetColumn3', 'DatasetColumn4', 'DatasetColumn5', 'DatasetColumn6', 'DatasetColumn7', and 'DatasetTable1'. A yellow callout points to the 'ColumnHeader' label, stating: 'コラムヘッダ上のLabelは、「Static」(固定)となっています。' (The label on the column header is 'Static' (fixed)). Another yellow callout points to the 'DatasetColumn3' label, stating: 'データバンド上のLabelは、「Database」となっています。' (The label on the data band is 'Database').

プロパティ: Layout1

アクティブ | ターゲット

Label1 - Label

全般
フォント
カスタム
ハイパーリンク
条件付フォーマット
内容

タイプ Database

Dataset Dataset1

フィールド 取引先名

取引先名

表示形式 Text

値がヌルの場合 ' ' を使用する

Template1

0. 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11.

取引先名 ColumnHeader 受注日 工事名

DatasetColumn3 DatasetColumn4 DatasetColumn5

取引先名 受注日 工事名

DatasetColumn6 DatasetColumn7

DatasetTable1

コラムヘッダ上のLabelは、「Static」(固定)となっています。

データバンド上のLabelは、「Database」となっています。

Dataset Table ウィザード 実行結果(2)

DatasetTableの構造を確認します。

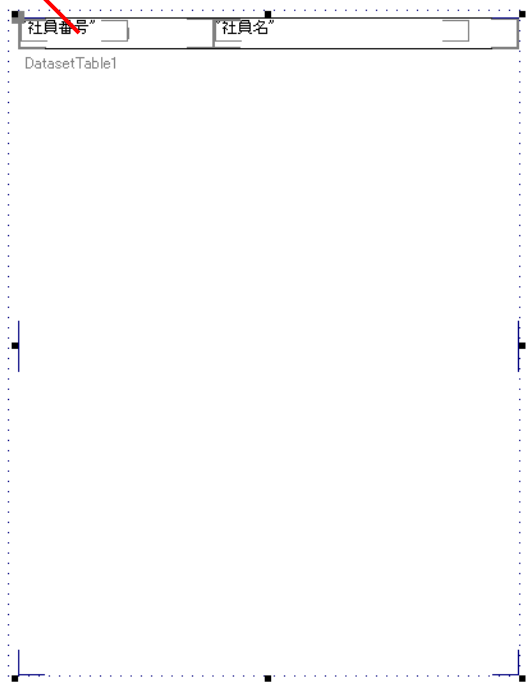
The screenshot displays the results of the Dataset Table Wizard, showing the DatasetTable structure in three panels:

- プロパティ: Layout1** (Properties: Layout1): Shows the DatasetTable1 - DatasetTable properties. The "カラム数" (Number of Columns) is set to 4. The "Dataset" is set to Dataset1. The "全体" (General) tab is selected, showing options for "ページヘッダ" (Page Header), "ページフッタ" (Page Footer), "レポートヘッダ" (Report Header), "レポートフッタ" (Report Footer), and "カラムヘッダ" (Column Header). The "カラムヘッダ" checkbox is checked.
- Template1**: Shows the visual representation of the DatasetTable. The table structure is defined by the DatasetTable1 - DatasetTable. The table has 4 columns: 取引先名 (Customer Name), 受注日 (Order Date), 工事名 (Job Name), and an unnamed column. The table is divided into two bands: a "カラムヘッダ" (Column Header) band and a "データバンド(明細行)" (Data Band (Detail Row)) band. The header band contains the column names, and the data band contains the data rows.
- エクスプローラ: Layout1** (Explorer: Layout1): Shows the tree view of the DatasetTable structure. The tree view shows the following hierarchy:
 - Layout1
 - Components
 - Dataset1 - Dataset
 - DatasetTable1 - DatasetTable
 - DatasetTable1_ColumnHeader - DatasetBand
 - DatasetColumn3 - DatasetColumn
 - ab Label2 - Label
 - DatasetColumn4 - DatasetColumn
 - ab Label4 - Label
 - DatasetColumn5 - DatasetColumn
 - ab Label6 - Label
 - DatasetColumn6 - DatasetColumn
 - ab Label8 - Label
 - DatasetBand1 - DatasetBand
 - DatasetColumn1 - DatasetColumn
 - ab Label1 - Label
 - DatasetColumn2 - DatasetColumn
 - ab Label3 - Label
 - DatasetColumn7 - DatasetColumn
 - ab Label5 - Label
 - DatasetColumn8 - DatasetColumn
 - ab Label7 - Label

DataSetTableについて

DataSetTableは、テーブルの高さだけ明細行を表示し、1ページに表示しきれない場合は、自動的に改ページします。

明細行(データバンド)



この高さの
行を繰り返す



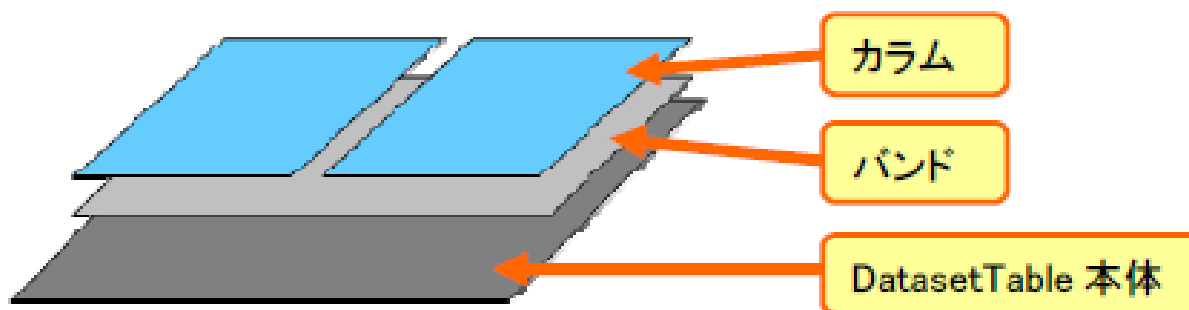
プレビュー

| | |
|------|--------|
| 7369 | 赤坂 一郎 |
| 7499 | 石塚 達也 |
| 7521 | 宇野 悦子 |
| 7566 | 遠藤 かおる |
| 7654 | 遠田 和男 |
| 7698 | 加藤 真一 |
| 7782 | 木村 次郎 |
| 7788 | 工藤 悟 |
| 7839 | 近藤 智美 |
| 7844 | 里村 澄子 |
| 7876 | 志村 紀夫 |
| 7900 | 外川 仙太郎 |
| 7902 | 田野倉 秀雄 |
| 7934 | 津村 康之 |
| 3001 | 天童 弘明 |
| 3002 | 戸澤 明 |
| 3003 | 中川 辰 |
| 3004 | 西村 周蔵 |
| 3005 | 浜田 紀夫 |
| 3006 | 松村 伸 |
| 3007 | 三田 英子 |
| 3028 | 三浦 幸平 |
| 3049 | 藤井 輝夫 |

自動的に改ページ

DatasetTableの構造

DatasetTableは階層構造になっており、DatasetTable本体の上にバンドがあり、その上にカラムがあるような3段構造になっています。

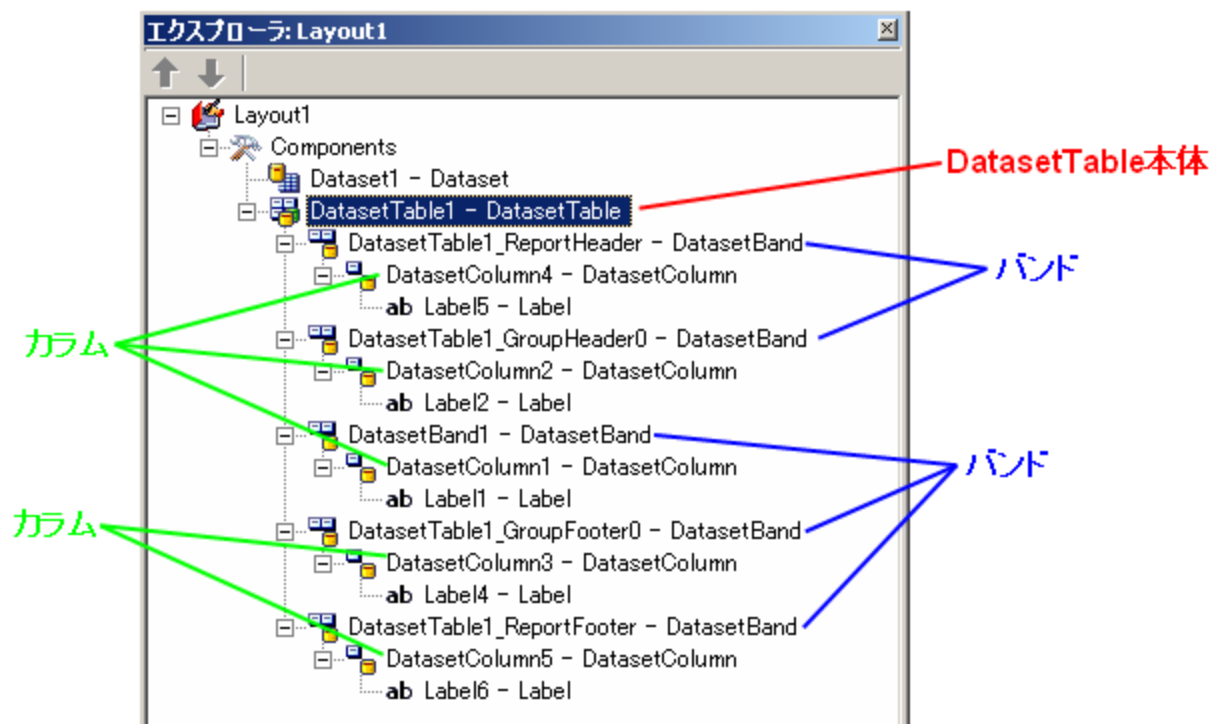


DatasetTableは、その上に別のコンポーネントを配置して使用することが多いため、マウスでのドラッグ操作等を考慮し、単にクリックしただけでは選択できないようになっています。

DatasetTableの各階層を選択するには、いくつかの方法があります。

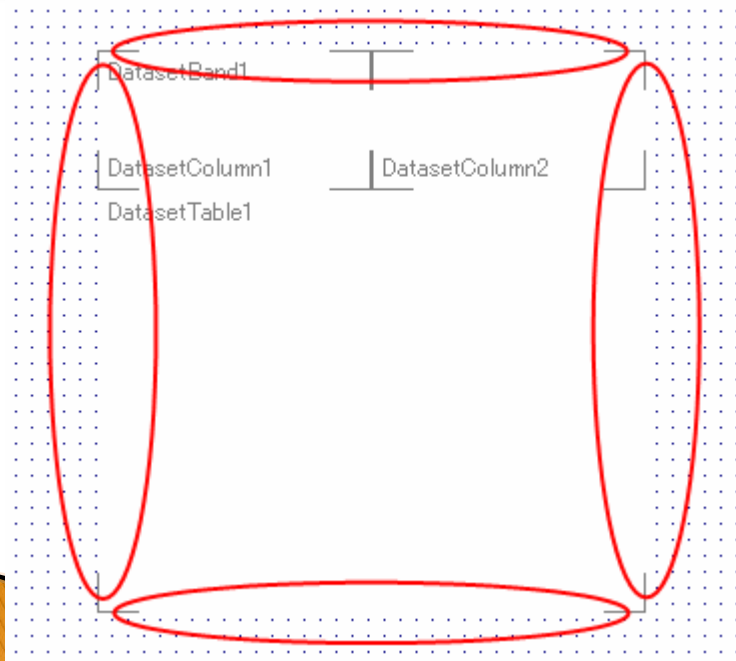
DatasetTableの選択方法(1)

テンプレートエクスプローラで、各階層をクリックすることにより、選択することができます。

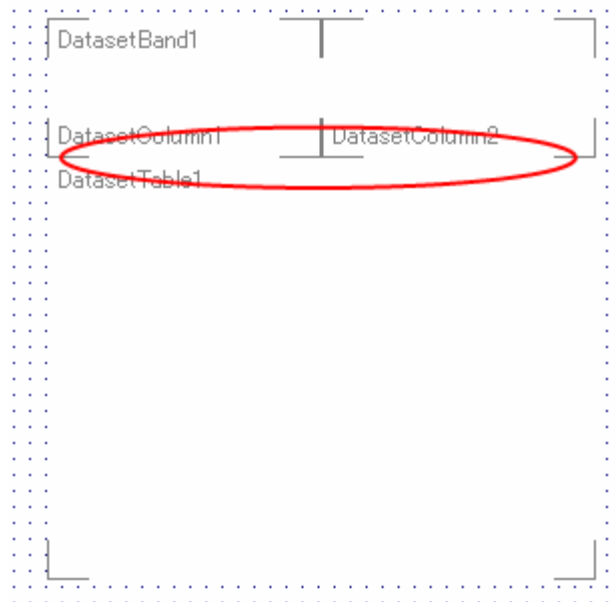


DataSetTableの選択方法(2)

DataSetTableの境界線(下図の赤い印がついた部分)を囲むようにドラッグすると、選択することができます。



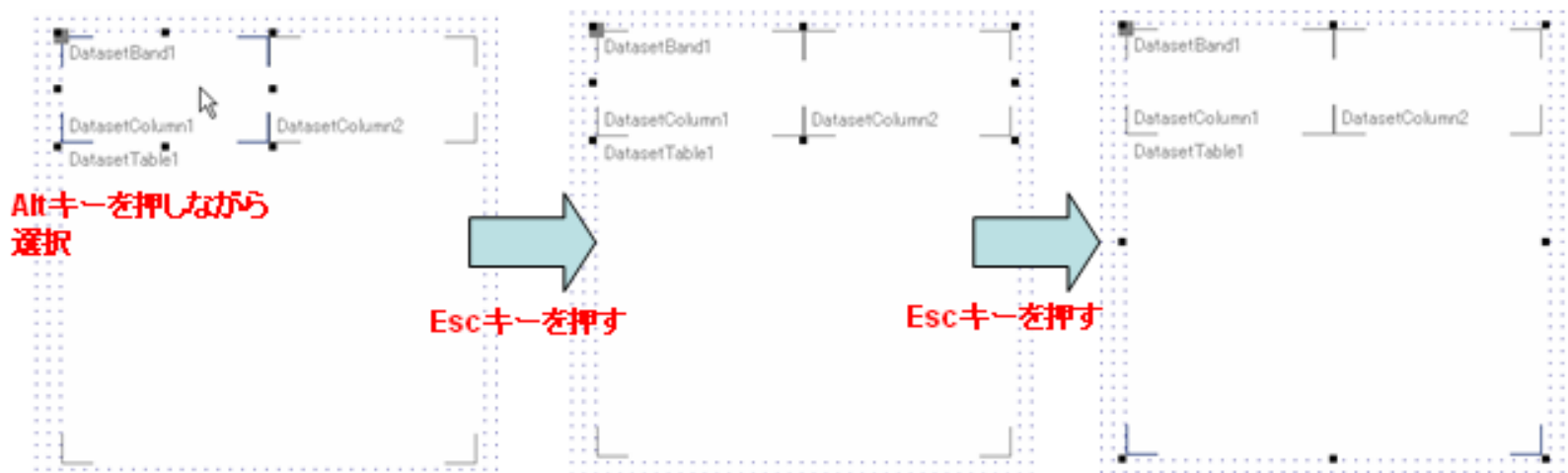
また、最下段にあるバンドについては、バンドの境界線を囲むようにドラッグすると、選択することができます。



DatasetTableの選択方法(3)

キーボードのAltキーを押しながらカラムをクリックすると、カラムを選択することができます。

カラムを選択した状態で、キーボードのEscキーを押すと、カラム → バンド → DatasetTable本体 というように、下の階層に選択が切り替わります。



Labelの設定

カラムヘッダの Label の設定を行い、その設定をコピーして別のLabelに 貼り付けます。

1. Labelコンポーネントを選択します

2. 全般プロパティの[透過]にチェックを入れます

3. フォントプロパティの[色]を白にします

4. フォントプロパティの[太字]にチェックを入れます

5. カラムヘッダのほかの Label コンポーネントも同様に設定します
書式のコピー/貼り付け
使用します

カラムヘッダの設定

カラムヘッダの高さ、背景色を設定します。

1. カラムヘッダーを選択します

2. 全般プロパティで
高さを「24」にします

3. カスタムプロパティで
背景色を設定します

プロパティ: Layout1

アクティブ | ターゲット |

DatasetTable1_ColumnHeader - DatasetBar

全般

名前 DatasetTable1_ColumnHeader

位置とサイズ

0 24 713

枠線

サイズ 1

色

外観

☒ 可視
☐ 透過
☐ ドラッグ禁止

カスタム

タイプ ColumnHeader

外観

背景色

☐ 第2背景色

バンドの高さ

☐ 自動調整する

バンドの接着

☐ 内側のバンドから離れないようにする

Template1

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

0.1 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

取引先名 受注日 工事名 受注金額

取引先名 受注日 工事名 受注金額

DatasetColumn1 DatasetColumn2 DatasetColumn7 DatasetColumn8

DatasetTable1

金額の右寄せと明細行の高さ

受注金額を表示する Label コンポーネントとDataset Band の高さの設定をします。

1. Label コンポーネントを選択します

2. カスタムプロパティの[配置]を[右上]にします

3. Dataset Band の高さを「24」に設定します

グループヘッダ、グループフッタの作成

Dataset Tableコンポーネントにグループヘッダとグループフッタを追加します。

1. Dataset Table を選択します

2. カスタムプロパティ「グループ」タブを選択します

3. 「施工担当者コード」のヘッダ、フッタにチェックをつけます

The screenshot shows the 'プロパティ: Layout1' (Properties: Layout1) window on the left and the 'Template1' design area on the right. The 'DatasetTable1 - DataSetTable' component is selected. The 'グループ' (Group) tab is active in the 'カスタム' (Custom) section. The '施工担当者コード' (Construction Manager Code) is selected in the 'フィールド' (Field) list, and the 'ヘッダ' (Header) and 'フッタ' (Footer) checkboxes are checked. The design area shows a table with columns for '取引先名' (Customer Name), '受注日' (Order Date), '工事名' (Work Name), and '受注金額' (Order Amount). The table is divided into a header section (DatasetTable1_GroupHeader0) and a footer section (DatasetTable1_GroupFooter0).

担当者名の表示

担当者名を表示するためのLabelコンポーネントを配置します。

2. フィールドプロパティを表示
します

1. Datasetをクリックします

3. 「担当者名」フィールドを
クリックします

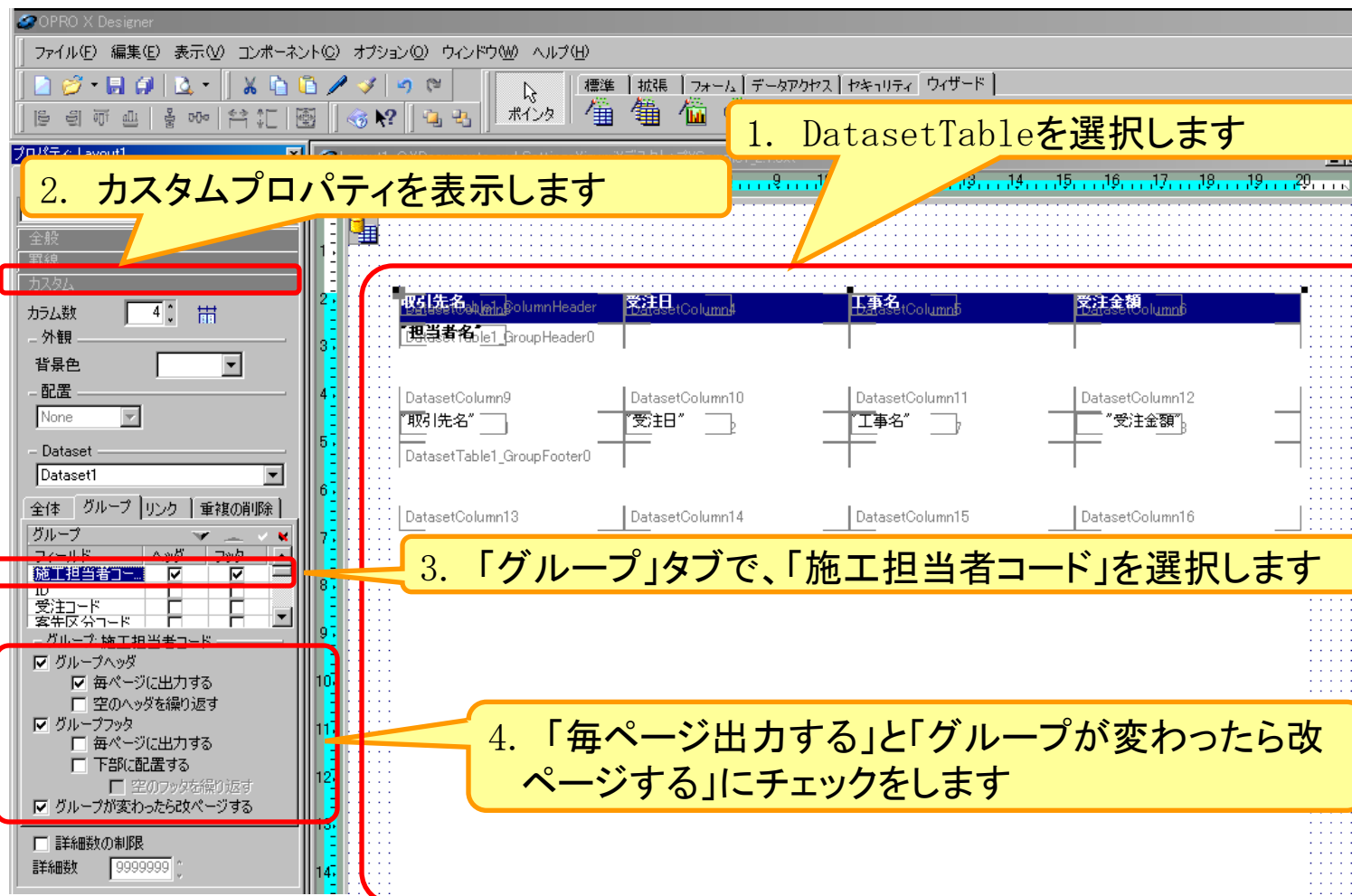
4. グループヘッダの上へドラッグ
&ドロップします

5. 次の設定を行います
・全般プロパティで[透過]にチェックを入れます
・フォントプロパティで[太字]にチェックを入れます

The screenshot shows a software interface with a 'Dataset' table. The table has columns for '取引先名' (Customer Name), '受注日' (Order Date), and '工事名' (Work Name). The '担当者名' (Responsible Name) field is highlighted in the field list on the left. Callout 1 points to the 'Dataset' table. Callout 2 points to the 'フィールド' (Field) tab in the 'プロパティ' (Property) window. Callout 3 points to the '担当者名' field in the field list. Callout 4 points to the '担当者名' field being dragged to the table header. Callout 5 points to the '全般' (General) and 'フォント' (Font) tabs in the 'プロパティ' window.

ここまで終わったら、一度プレビューしてみましょう。

グループヘッダで改ページの設定



プレビューし、先ほどの結果と比べてみましょう。

グループヘッダの高さ、背景色

1. グループヘッダを選択します

2. 全般プロパティで高さを「24」にします

3. カスタムプロパティで背景色を設定します

| 取引先名 | 受注日 | 工事名 | 受注金額 |
|----------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 担当名 | DatasetColumn10 | DatasetColumn11 | DatasetColumn12 |
| 取引先名 | 受注日 | 工事名 | 受注金額 |
| DatasetTable1_GroupFooter0 | | | |
| DatasetColumn13 | DatasetColumn14 | DatasetColumn15 | DatasetColumn16 |

グルーピングでの表示順

■グルーピングの優先順位について

DatasetTableカスタムプロパティの[グループ]タブで[ヘッダ]/[フッタ]にチェックをつけているフィールドはグループ化を行っているフィールドです。

これらのフィールドは、より上に表示されているフィールドを優先的にグループ化を行います。

この表示順を変更するには、移動したいフィールドを選択し、左図の赤枠部分、[上へ移動]または[下へ移動]をクリックします。

(このとき[チェックされたフィールドのみ表示]をチェックすると作業が簡易になります。)

また、クエリビルダでの並べ替えの設定は明細行である[DatasetBand]部分に適用されます。

例)

次のように設定します。

- ・「施工担当者コード」、「取引先名」の順でグループ化を行う
- ・クエリビルダの[並べ替えの設定]では「工事名」の昇順を設定

カスタム

カラム数 4

外観

背景色

配置

None

Dataset

Dataset1

全体 グループ リンク 重複の削除

| フィールド | ヘッダ | フッタ |
|----------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 施工担当者コード | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| ID | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 受注コード | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 客先区分コード | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 完成日付 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 工事No | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 工事名 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 取引先名 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 発注者コード | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 現場住所 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 受注日 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 受注金額 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 値引き | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 有償区分 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 契約工期開始 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 契約工期終了 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 担当者名 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 受注額 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

グループ: 取引先名

☒ グループヘッダ

☐ 毎ページに出力する

☐ 空のヘッダを繰り返す

☒ グループフッタ

☐ 毎ページに出力する

☐ 下部に配置する

☐ 空のフッタを繰り返す

☐ グループが変わったら改ページする

下へ移動

上へ移動

チェックされたフィールドのみ表示

グルーピングをおこなったときのSQL

DatasetTableにグループヘッダ/フッタが設定されている場合、OPRO X Serverは内部的に複数のSQLを発行します。
まず、DISTINCT を使用して、グループのキーとなるデータを得るためのSQLを発行します。
各グループの明細行は、DISTINCT の結果を抽出条件として指定したSQLによって取得します。

このため、グループのデータの数が増えるほど、発行するSQLの数は多くなります。
また、入れ子の階層が深い(例えばグループヘッダが5階層等)といった作りは、パフォーマンス上あまりお勧めできません。

合計表示の配置

グループフッタにAggregate Functionコンポーネントを配置します。

The screenshot shows the OPRO X Designer interface. The main workspace displays a table with columns: 取引先名 (Customer Name), 受注日 (Order Date), 工事名 (Job Name), and 受注金額 (Order Amount). The '受注金額' column is highlighted with a red box. The 'プロパティ: Layout1' (Properties: Layout1) panel on the left shows the 'AggregateFunction1 - Aggregate Function' component. The '内容' (Content) tab is selected, showing the 'Dataset' set to 'Dataset1', the 'フィールド' (Field) set to '受注金額' (Order Amount), and the '関数' (Function) set to 'SUM'. The '表示形式' (Format) is set to '¥###0'. The 'データアクセス' (Data Access) tab is also visible in the top toolbar.

1. [データアクセス]タブをクリックします
2. [Aggregate Function]をクリックします
3. グループフッタに配置します
4. 内容プロパティを設定します
Dataset : Dataset1
フィールド: 受注金額
関数 : SUM
5. 次の設定を行います
・全般プロパティ [透過]にチェック
・フォントプロパティ [太字]にチェック
・カスタムプロパティ [配置]を[右上]

合計表示の見出しの配置

Labelを配置して、合計表示に見出しをつけます。

The screenshot displays the OPRO software interface. On the left, the 'プロパティ: Layout1' (Properties: Layout1) window is open, showing the '内容' (Content) tab. The 'タイプ' (Type) is set to 'Static', and the '内容' (Content) field contains '合計' (Total). The main workspace shows a table with columns: '取引先名' (Customer Name), '受注日' (Order Date), '工事名' (Work Name), and '受注金額' (Order Amount). The '合計' (Total) label is placed in the '工事名' column of the summary row. Three callout boxes provide instructions:

1. 見出し用にLabelコンポーネントを配置します (Place the Label component for the header)
2. 内容プロパティを設定します
タイプ: Static
内容 : 合計 (Set the content property)
タイプ: Static
内容 : 合計
3. 次の設定を行います
・全般プロパティ [透過] にチェック
・フォントプロパティ [太字] にチェック (Perform the following settings)
・General property [Transparent] checked
・Font property [Bold] checked

グループフッタの高さ、背景色

1. グループフッタを選択します

2. 全般プロパティで高さを「48」にします

3. カスタムプロパティで背景色を設定します

| 取引先名 | 受注日 | 工事名 | 受注金額 |
|----------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 担当者名 | DatasetColumn10 | DatasetColumn11 | DatasetColumn12 |
| 取引先名 | 受注日 | 工事名 | 受注金額 |
| DatasetTable1_GroupFooter0 | | 合計 | 受注金額 |
| DatasetColumn13 | DatasetColumn14 | DatasetColumn15 | DatasetColumn16 |

罫線の設定

1. Dataset Tableをドラッグして選択します

プロパティ: Layout1

アクティブ | ターゲット

DatasetTable1 - DatasetTable

全般

罫線

カスタム

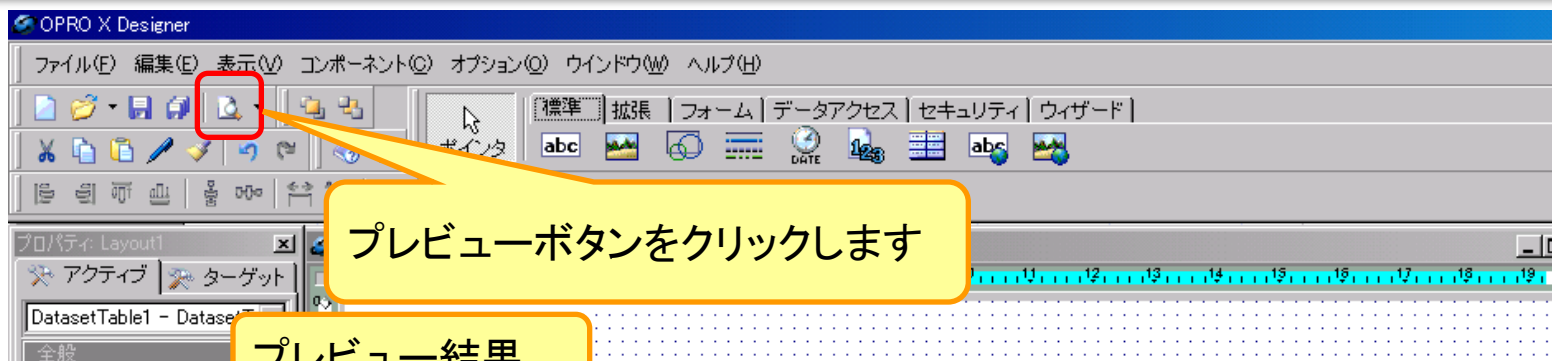
| 取引先名 | 受注日 | 工事名 | 受注金額 |
|----------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 担当者名 | | | |
| 取引先名 | 受注日 | 工事名 | 受注金額 |
| DatasetTable1_GroupFooter0 | | 合計 | 受注金額 |
| DatasetColumn13 | DatasetColumn14 | DatasetColumn15 | DatasetColumn16 |

DatasetTable1

2. 罫線プロパティで、左から2つ目のタイプを選択します

プレビューの実行

プレビューを行って、ここまでのデザインの確認をします。

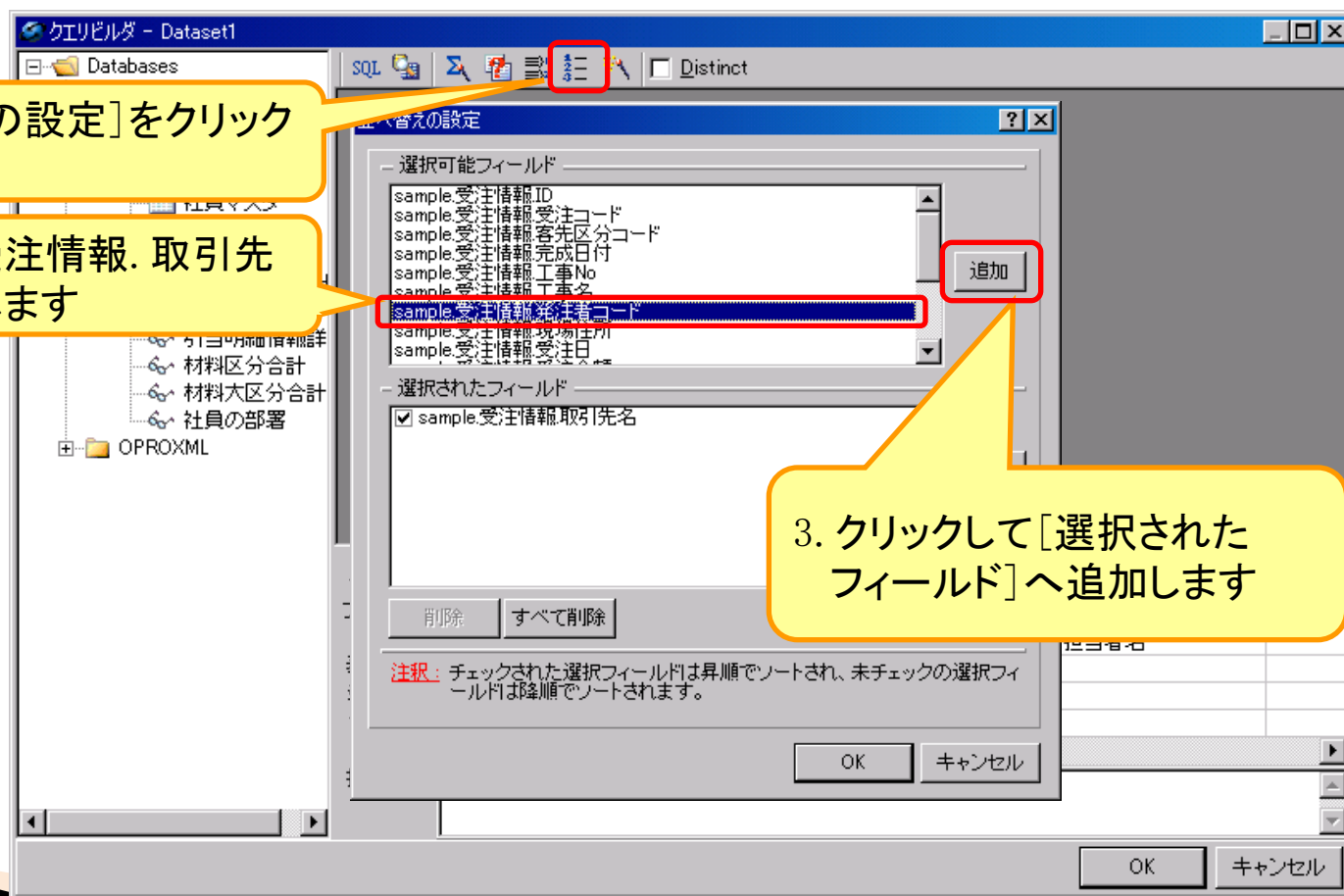


| 取引先名 | | 受注日 | 工事名 | 受注金額 |
|------|------|------------|---------|-------------|
| 田中 | | | | |
| 株式会社 | ABC | 2003/05/01 | 水道工事 | ¥1,500,000 |
| 株式会社 | ABC | 2003/05/11 | ADSL工事 | ¥2,500,000 |
| 株式会社 | ABC | 2003/05/21 | 電話工事 | ¥3,500,000 |
| 株式会社 | ABC | 2003/05/31 | 電話工事 | ¥4,500,000 |
| 株式会社 | ABC | 2003/06/10 | 光ファイバー敷 | ¥5,500,000 |
| 株式会社 | ABC | 2003/06/20 | 光ファイバー敷 | ¥6,500,000 |
| 株式会社 | ABC | 2003/06/30 | 光ファイバー敷 | ¥7,500,000 |
| 田中 | 株式会社 | 2003/05/01 | 水道工事 | ¥1,500,000 |
| 合計 | | | | ¥33,000,000 |

並べ替えの設定

明細データを「取引先名」順に並べ替えます。

Datasetをダブルクリックし、クエリビルダを起動してください。



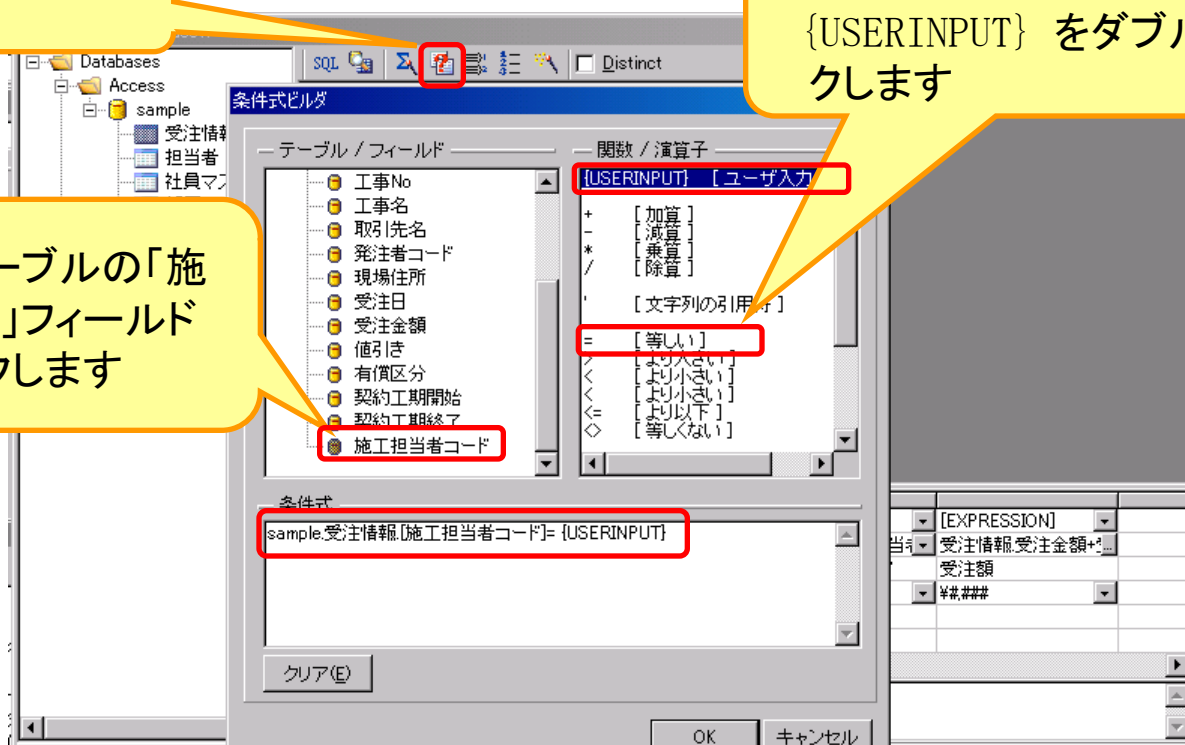
抽出条件の設定

実行時に「担当者コード」を指定できるように設定します。
抽出条件の設定は「条件式ビルダ」で行います。

1. [抽出条件の設定]をクリックします

2. 「受注情報」テーブルの「施工担当者コード」フィールドをダブルクリックします

3. = [等しい] と {USERINPUT} をダブルクリックします



クエリビルダ上の {USERINPUT} は、実行時に値を指定するという意味になります。

式の作成(1)

「受注金額」と「値引き」を足して、受注額を計算します。
式の作成は「式ビルダ」で行います。

1. [式の作成]をクリックします

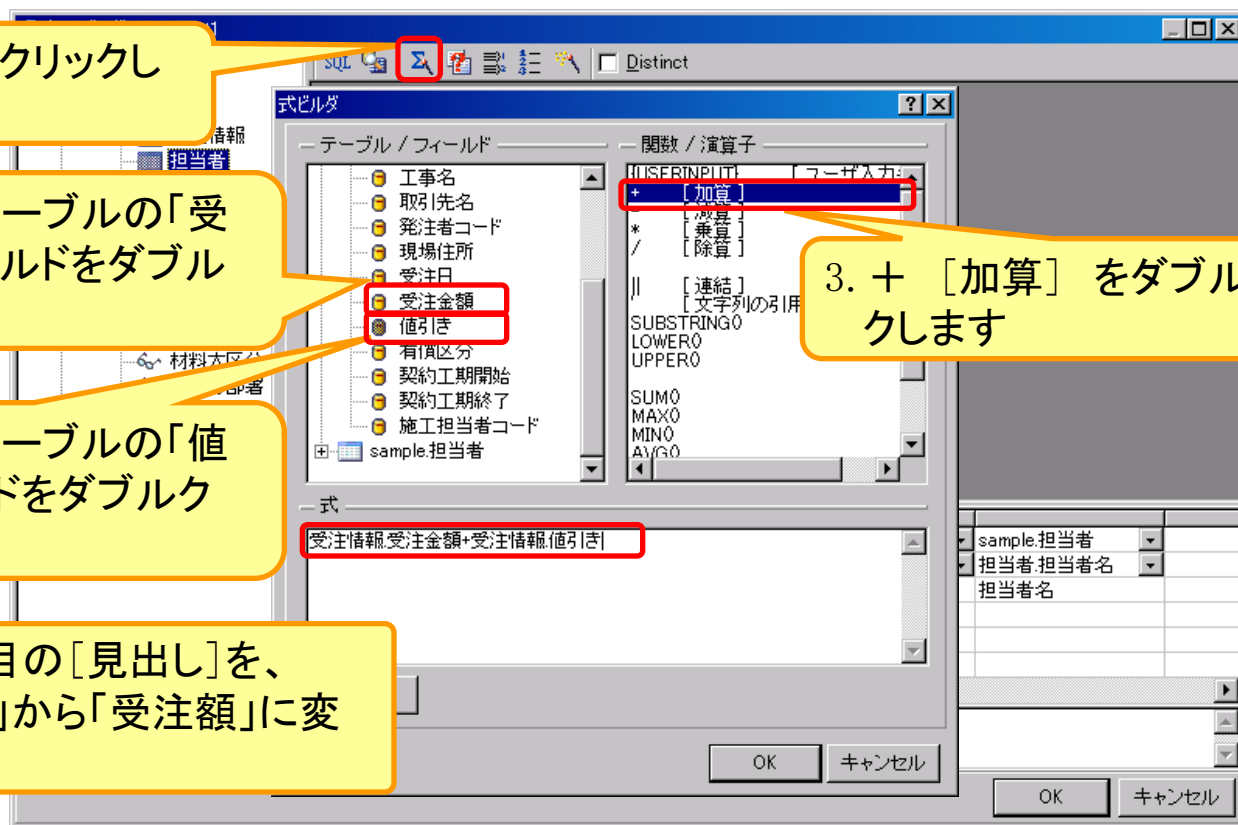
2. 「受注情報」テーブルの「受注金額」フィールドをダブルクリックします

4. 「受注情報」テーブルの「値引き」フィールドをダブルクリックします

3. + [加算] をダブルクリックします

5. 追加された項目の[見出し]を、「Expression1」から「受注額」に変更します

6. 表示形式を「¥#, ###」とします



「受注金額」を「受注額」に変更(1)

既にある「受注金額」が、「受注額」となるように選択しなおします。

1. 「受注金額」を表示していたLabelコンポーネントをクリックします

プロパティ: Layout1

アクティブ ターゲット

Label7 - Label

全般
フォント
カスタム
ハイパーリンク
条件付フォーマット
内容

タイプ Database

Dataset
Dataset1

フィールド
受注額
"受注額"

表示形式 ¥#,###

値がヌルの場合 [] を使用する

Layout1-C:\Documents and Settings\kumagai\My Documents\新しいフォルダ\Template1.txt

| 取引先名 | 受注日 | 工事名 | 受注金額 |
|------|-----|-----|------|
| 担当者名 | | | |
| 取引先名 | 受注日 | 工事名 | 受注額 |
| 合計 | | | 受注金額 |

2. 内容プロパティで[フィールド]を「受注額」に変更します

「受注金額」を「受注額」に変更(2)

AggregateFunctionについても同様に、「受注額」に変更します。

1. Aggregate Functionコンポーネントをクリックします

The screenshot displays the 'AggregateFunction1' component in the software interface. The 'Field' is set to '受注額' and the 'Function' is set to 'SUM'. A table in the background shows the data structure with columns for '取引先名', '受注日', '工事名', and '受注金額'.

| 取引先名 | 受注日 | 工事名 | 受注金額 |
|----------------------------|-----------------|-----------------|------|
| 担当者名 | | | |
| 取引先名 | 受注日 | 工事名 | 受注額 |
| DatasetTable1_GroupFooter0 | | 合計 | 受注額 |
| DatasetColumn13 | DatasetColumn14 | DatasetColumn15 | |

2. 内容プロパティで[フィールド]を「受注額」に変更します

3. [関数]を[SUM]に設定します

重複したデータを表示しない

「取引先名」のデータが重複した場合に、同じものを繰り返さないように設定します。

1. Dataset Tableを選択します

2. カスタムプロパティで「重複の削除」タブをクリックします

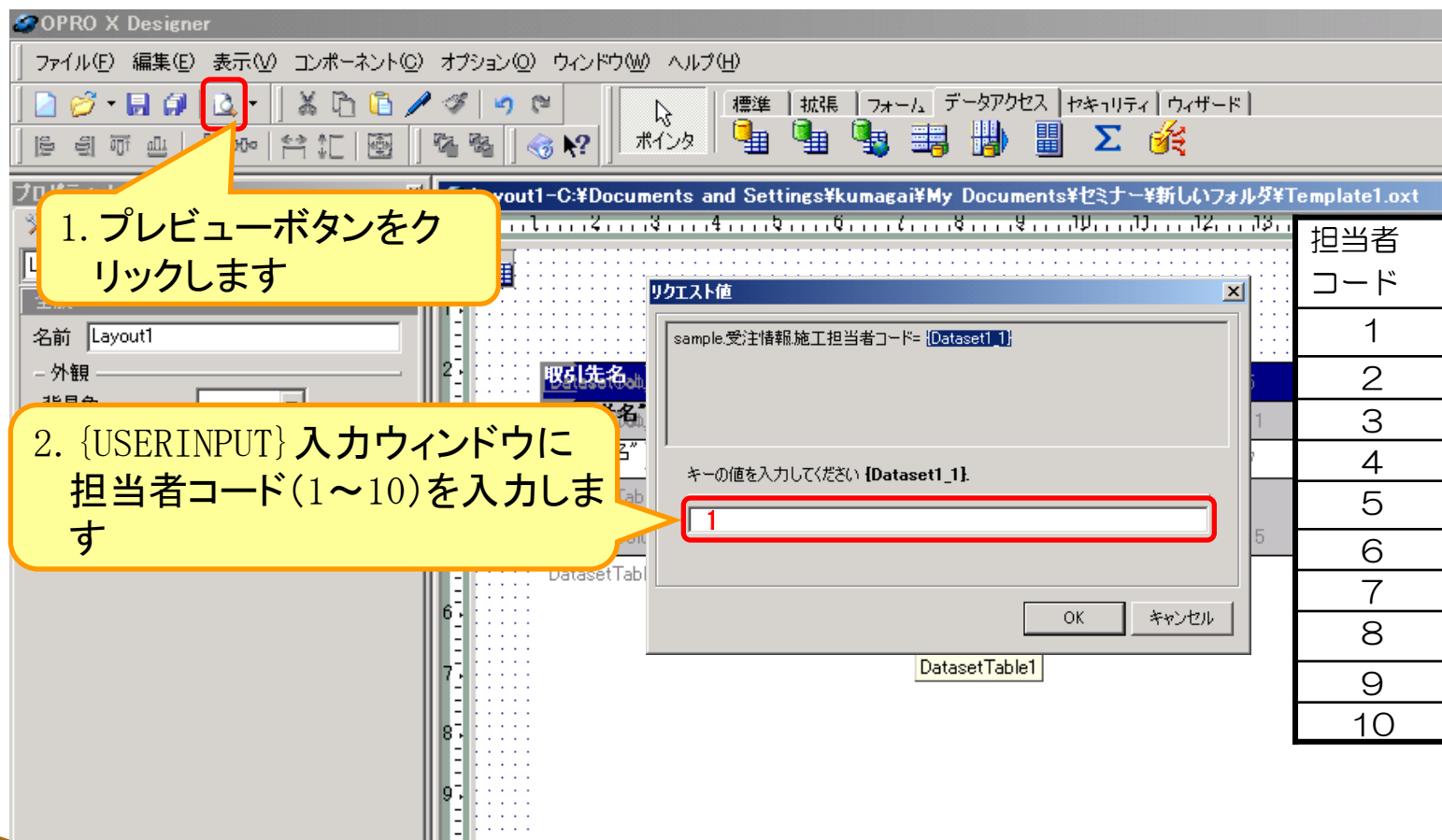
3. 「取引先名」にチェックをつけます

| 取引先名 | 受注日 | 工事名 | 受注金額 |
|----------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 担当者名 | | | |
| 取引先名 | 受注日 | 工事名 | 受注額 |
| DatasetTable1_GroupFooter0 | | 合計 | 受注額 |
| DatasetColumn13 | DatasetColumn14 | DatasetColumn15 | DatasetColumn16 |

DatasetTable1

以上で基本的な連続帳票サンプルは完成です！プレビューで確認してみましょう

プレビューの実行



参考

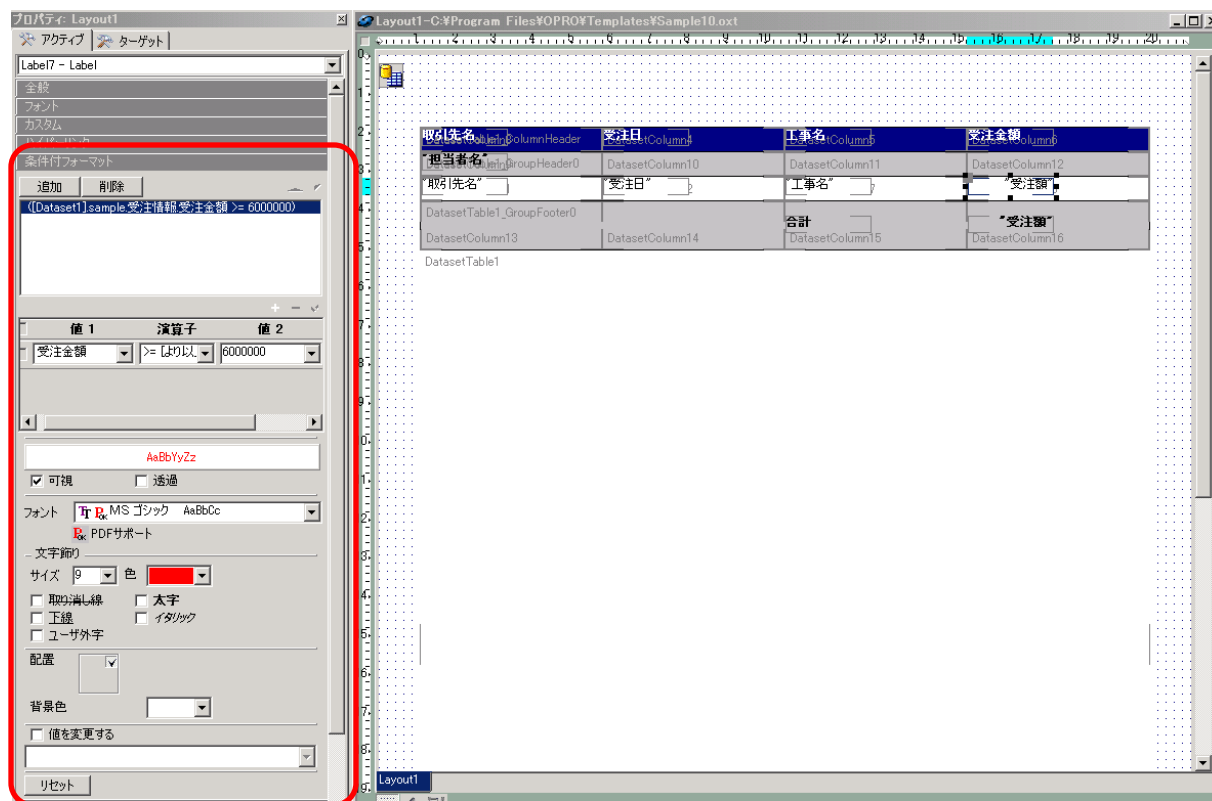
| 担当者コード | 担当者名 |
|--------|------|
| 1 | 田中 |
| 2 | 佐藤 |
| 3 | 鈴木 |
| 4 | 原 |
| 5 | 石川 |
| 6 | 武藤 |
| 7 | 佐々木 |
| 8 | 石井 |
| 9 | 伊藤 |
| 10 | 小林 |

条件付フォーマット

Labelの「条件付フォーマット」プロパティで、条件によって表示方法を変更することができます。

例えば、「受注金額」フィールドの値が 6000000 以上の場合、フォントの色を赤で表示するには、以下のように設定します。

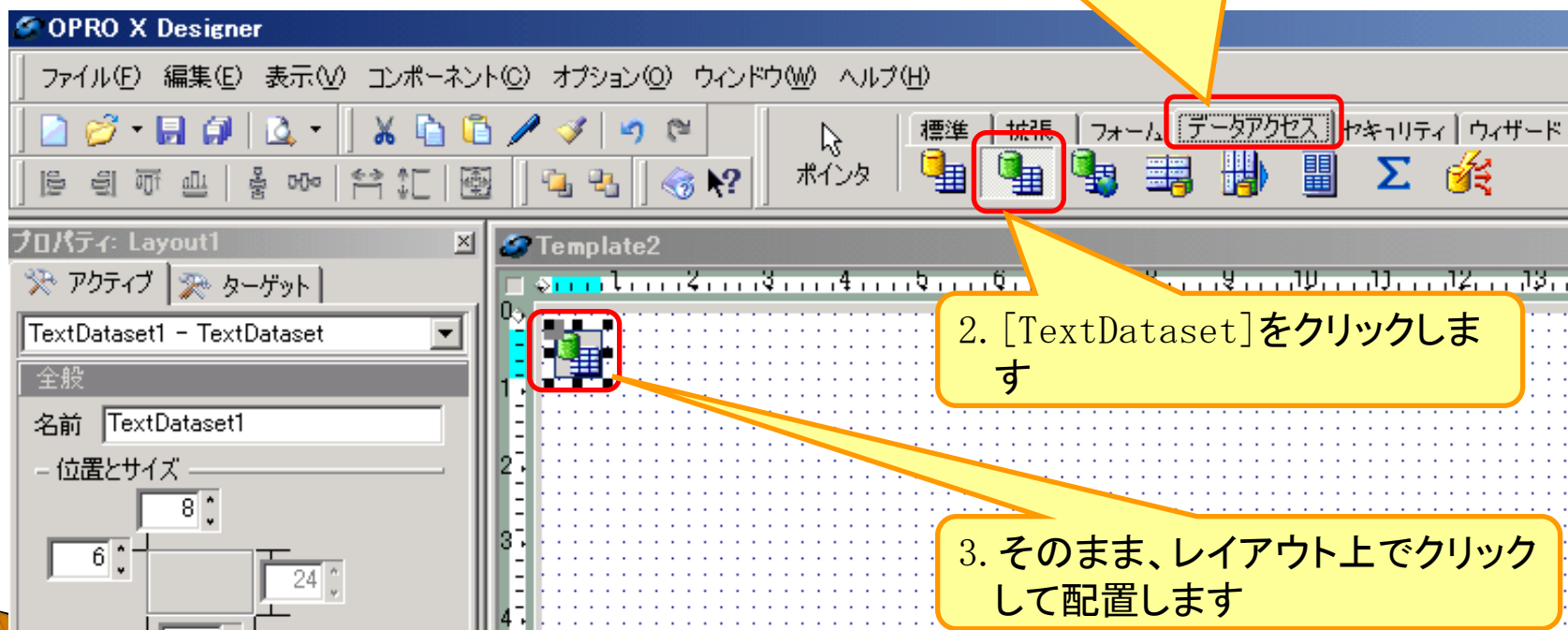
- ・値1 受注額
- ・演算子 >=
- ・値2 6000000
- ・フォント - 色 赤



1.TextDatasetコンポーネントの配置

TextDatasetコンポーネントを使用すると、テキストファイルやCSVファイル、からデータを読み込むことができます。

1. [データアクセス]タブをクリックします

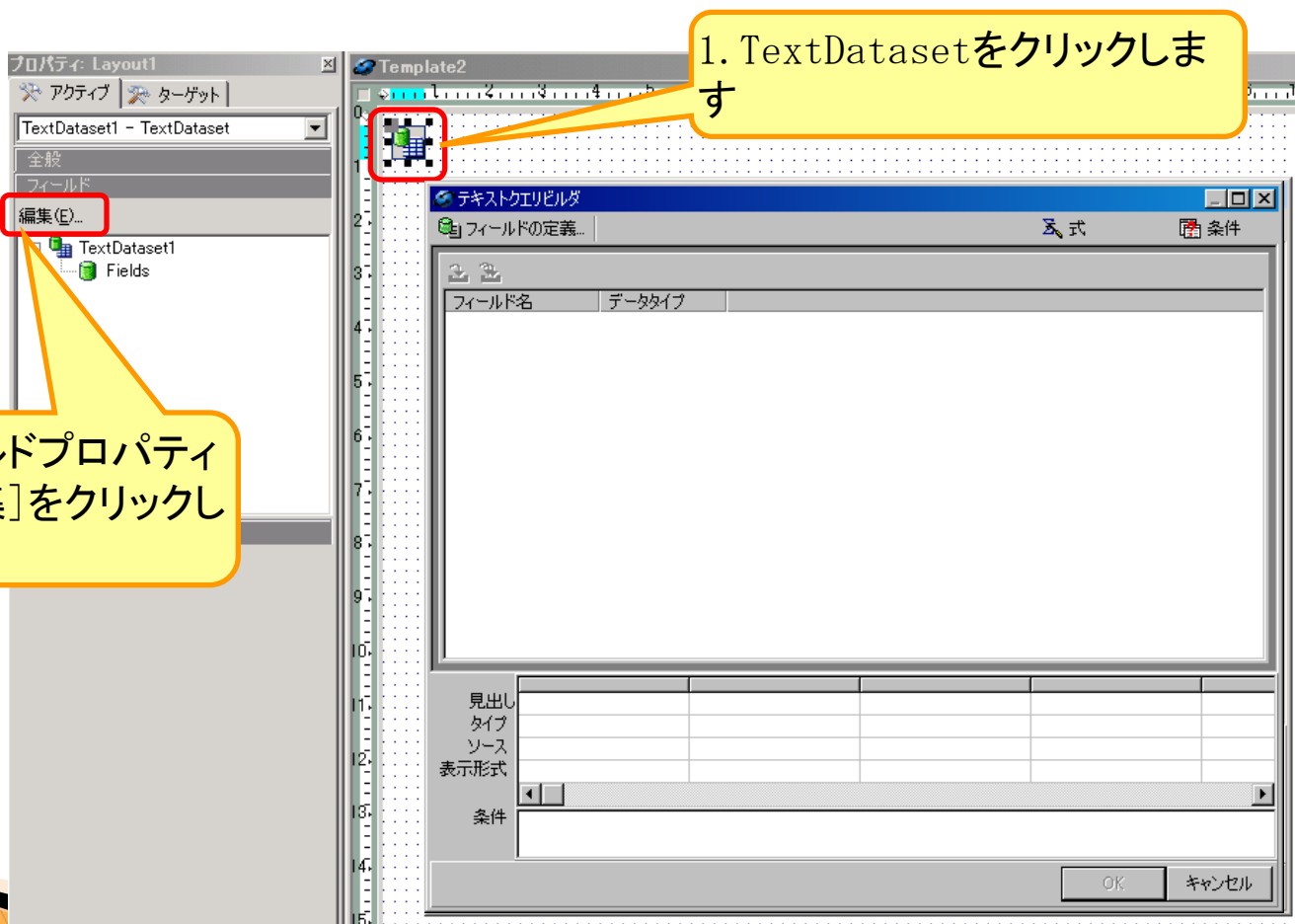


2. [TextDataset]をクリックします

3. そのまま、レイアウト上でクリックして配置します

2. テキストクエリビルダの起動

テキストクエリビルダを起動してテキストの定義を行います。

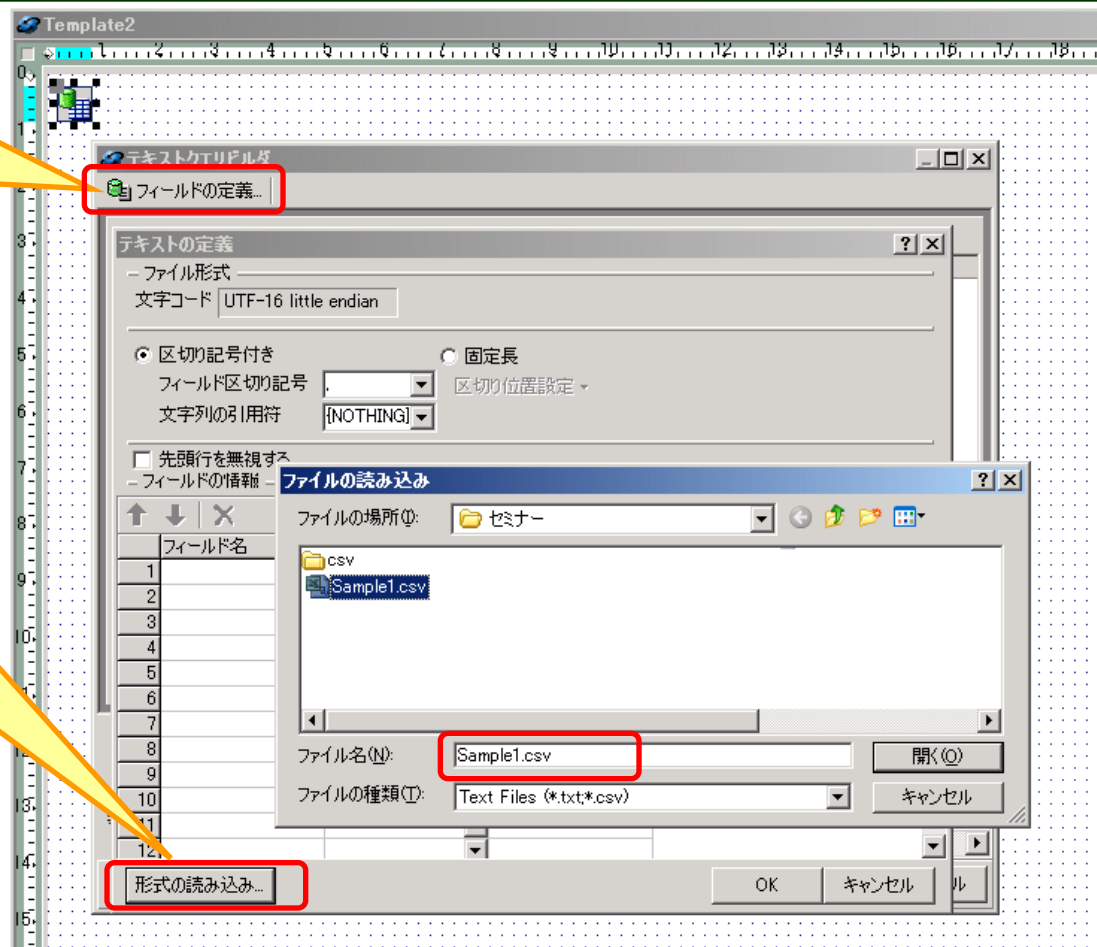


3. テキスト形式の読み込み

テキストの定義を設定します。既存のCSVファイルから設定することができます。
(フィールドごとに直接入力して設定を行うこともできます。)

1. [フィールドの定義]をクリックして[テキストの定義]を開きます。

2. [形式の読み込み]をクリックしてCSVファイルを読み込みます。



4. テキストの設定

既存のCSVファイルからテキストの設定を行います。

1. 「932 (SHIFT_JIS)」を選択します

2. 「区切り記号付き」を選択します

3. カンマを選択します

4. ダブルクォーテーションを選択します

5. [先頭行をフィールド名として使う]をチェックします

6. [OK] クリックします

7. テキストクエリビルダもOKボタンをクリックして終了します。

テキストの設定

ファイル形式
文字コード 932 (Shift_JIS)

☒ 区切り記号付き ☐ 固定長

フィールド区切り記号 ,

文字列の引用符 "

☒ 先頭行をフィールド名として使う

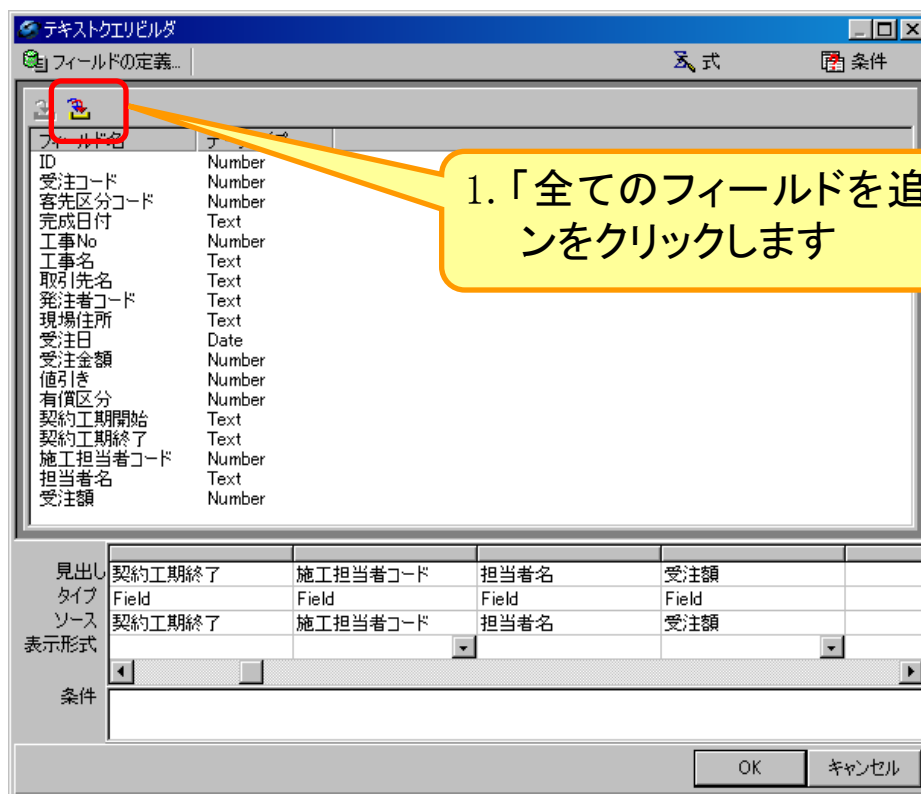
| 受注コード | 客先区分コード | 完成日付 | 工事No | 工事名 |
|---------|---------|---------------------|-----------|--------|
| 31320.0 | 24 | 2003-08-13 00:00:00 | 000000011 | ADSL工事 |
| 32330.0 | 24 | 2003-08-23 00:00:00 | 000000021 | 電話工事 |
| 33340.0 | 24 | 2003-09-02 00:00:00 | 000000031 | 電話工事 |
| 34350.0 | 24 | 2003-09-12 00:00:00 | 000000041 | 光ファイバー |
| 35360.0 | 24 | 2003-09-22 00:00:00 | 000000051 | 光ファイバー |
| 36370.0 | 24 | 2003-10-02 00:00:00 | 000000061 | 光ファイバー |
| 30310.0 | 24 | 2003-08-03 00:00:00 | 000000001 | 水道工事 |
| 54371.0 | 31 | 2003-08-05 00:00:00 | 000000001 | 水道工事 |
| 46372.0 | 28 | 2003-08-05 00:00:00 | 000000002 | 道路工事 |
| 52311.0 | 00 | 2003-08-04 00:00:00 | 000000000 | 道路工事 |

MS ゴシック Aa

OK キャンセル

5.フィールドの追加

テンプレートで使用するフィールドを選択します。



※フィールド名をダブルクリックして、一つずつ追加することもできます。

6. データ表示形式の指定

デザイングリッドの[表示形式]はドロップダウンリストから表示形式を選択できます。（ドロップダウンリストにないものは直接キーボードから入力できます。）

| | | | |
|---------------------------|------------|--------|--------|
| 見出し
タイプ
ソース
表示形式 | 受注日 | 受注金額 | 値引き |
| | Field | Field | Field |
| | 受注日 | 受注金額 | 値引き |
| | yyyy/MM/dd | ¥#,### | ¥#,### |
| | ▼ | ▼ | ▼ |

1. ドロップダウンリストから表示形式を選択します

2. キーボードから表示形式を入力します

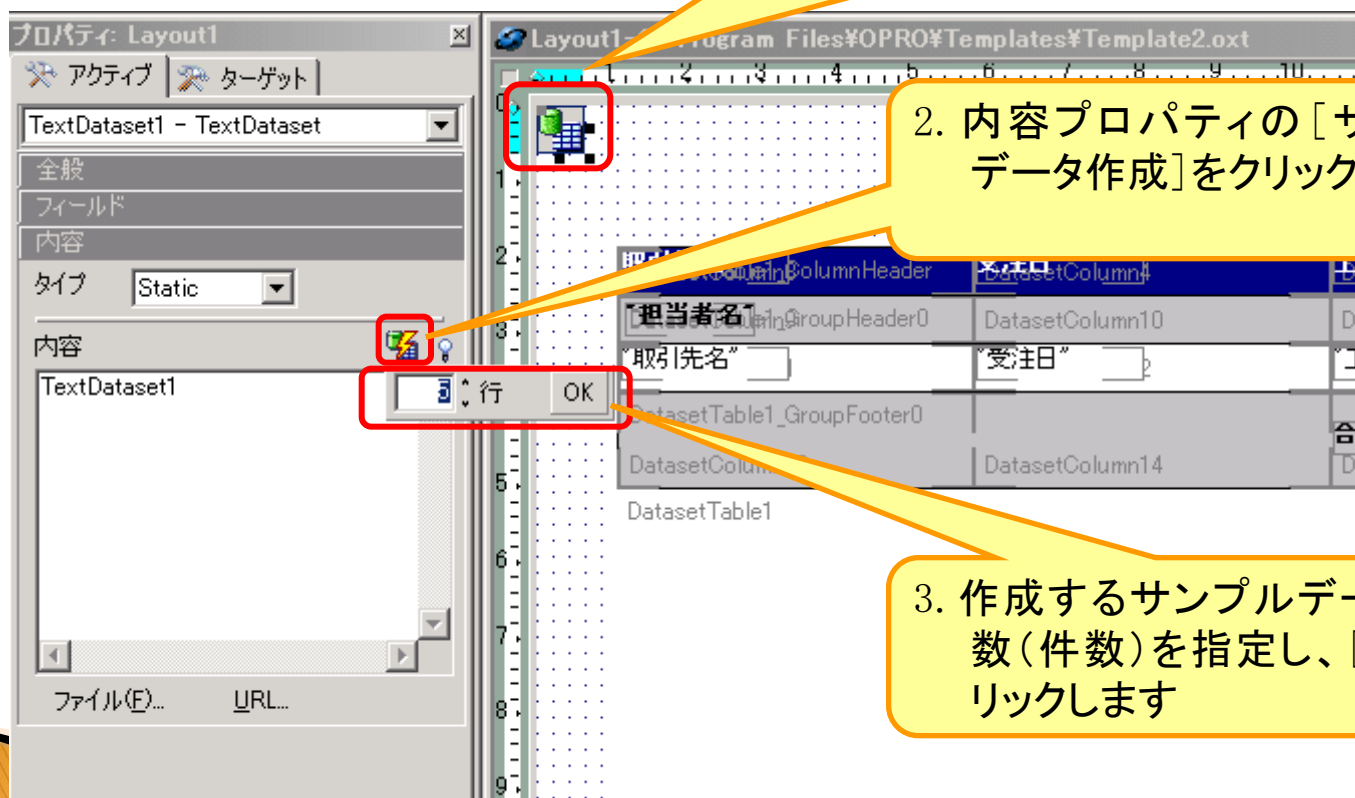
7. サンプルデータの作成

簡単なサンプルCSVデータを作成することができます。作成したデータを使用して確認プレビューを行うこともできます。

1. TextDataset を選択します

2. 内容プロパティの [サンプルデータ作成] をクリックします

3. 作成するサンプルデータの行数(件数)を指定し、[OK] をクリックします



8.CSVデータの渡し方

ここでは、帳票生成時にCSVデータを渡す方法をご紹介します。

1. TextDataset を選択します

2. 内容プロパティを設定します
 タイプ: Request
 リクエストパラメータ名: TextDataset1

3. プレビュー時に表示されるリクエスト値にCSVデータを入力します

リクエスト値

Layout1 - TextDataset1

キーの値を入力してください [TextDataset1].

ID,受注コード,客先区分コード,完成日付,工事No,工事名,取引先名,発注者:
 31,320,0,24,"2003-08-13 00:00:00",000000011,ADSL工事,株式会社 ABC

※CSVファイルの場所を指定する方法はURLTextDatasetコンポーネントを使用します。